

1504

自昭和十二年十月十六日
至昭和十二年十月三十日

劉家行西方地區ニ於ケル戦闘詳報
(老陸宅馬家宅三家村孟家宅)

歩兵第六十五聯隊

006 / 1

1878

敵前ニ於ケル彼我形勢

(イ) 敵軍ノ状態

敵ハ新木橋、三家村、光陸宅、孟家宅ノ線ニ亘リ陣地ヲ占領シ其ノ守備部隊ハ第十三師並ニ軍官學校生徒ヲ以テ編成シタル精銳ナル部隊ニシテ鐵條網、鹿砦ニ加フルニ縱横ニ流ル、クリークヲ巧ニ利用シ無數ノ掩蓋銃座ヲ配セル陣地ヲ縱深横行ニ構築ス其強度極メテ堅固ニシテ一種ノ要塞ヲ形成ス

(ロ) 我軍ノ状態

第十三師團ハ十月十二日以來山田少將ノ指揮スル歩兵第百四聯隊及歩兵第百十五聯隊ノ第一大隊(歩兵砲隊配屬)及砲工兵隊ノ主力ヲ以テ新木橋ヨリ光陸宅附近ニ亘ル敵陣地ニ對シ攻撃ヲ續行中ニシテ當時右第一線タル歩兵第百四聯隊ハ新木橋ヨリ三家村ノ敵陣地ニ對シ又左第一線タル歩兵第百十五聯隊ノ第一大隊ハ光陸宅附近ノ敵ニ對シ攻撃ヲ實行中ナリ

歩兵第六十五聯隊主力ハ師團ノ第三線部隊トシテ泰寧宅
附近ニ集結シアリ

三 戦闘ニ影響ヲ及ホセシ天候氣象及戦闘地ノ状態

(イ) 天候

十月六日頃ヨリ同十四日迄ハ雨天續キニテ爾後天候恢復セルモ道路
泥濘歩行困難ニシテ各ブリークノ水量ハ増加シ戦闘間ハ散兵壕、
交通壕共常ニ膝ヲ没スルノ状態ニシテ毎朝九時迄ハ濃霧ノタメ
通視比較的困難ナリ

(ロ) 氣象

夜間ハ十月十七日ハ舊九月十四日ニシテ月明、夜多シ

日出…午前七時三十分

日没…午後六時〇分

日中ハ相當暑熱ヲ感シ發汗セルモ日没後ハ一變シテ冷氣ヲ覺ユ
ハ戦闘地ノ状態

一 般ニ平坦ナルモ高サニ二米ノ孤立セル墓地ハ敵ハ多クモ機關銃陣地ニ改造スル點ヲトシテ突起シ棉畑(高サ約五〇糎)多ク所々ニ小部落點在シ且ツ大小無數ノコリークハ縱横ニ流レ其大ナルモノハ幅約四〇米深サニ米以上ニ及ヒ戰鬪ニ影響セシコト極メテ甚大ナリ

三 彼我ノ兵力交戦セシ敵兵ノ團隊號及將帥ノ氏名

(イ) 敵ノ兵力團隊號

敵ハ陳誠ノ指揮スル第十三師及第百六十師並軍官學校生徒ヲ以テ編成シタル蔣介石直系ノ精銳ヲ以テ誣ハレタル軍隊ニシテ極メテ多數ノ自動火器ト豊富ナル彈藥トヲ準備シアリ

(ロ) 陣地

老陸宅馬家宅附近ノ陣地ハ概テ間隔ニ米ヲ間シテ堅固ナル無數ノ掩蓋銃座ヲ構築シ其ノ後方ハ完全ニ交通壕、掩蔽部(掩蓋銃座並ニ掩蔽部ハ直徑三〇糎以上ノ角材若クハ丸大ヲ以テ構築シ野砲級ノ彈丸ニテハ破壊困難ナリ)アリテ長期抗戦ニ備フル如ク又斜

射側射ノ經始極メテ巧妙ニシテ重輕ノ自動火器ヲ最高度ニ利用セ
ル面式防禦ニシテ然モ各陣地ハ何レモ巧ニ偽装セラレアリ
尚其後方六七百米ニハ四五十ノ迫撃砲ヲ備フ(附圖第一參照)

(イ) 我カ軍ノ兵力

一歩兵第六十五聯隊

二山砲兵第十九聯隊ノ一中隊

三工兵第十三聯隊(第一中隊欠)

四攻撃手部署及戰闘ニ関シ下シタル命令

別紙附録ノ如シ

五戰闘經過

十月十六日 (晴)

午前七時二七分
午後五時三九分

一第一大隊方面

聯隊主力到着前山田旅團ノ左第一線トシテ一部ヲ以テ右羽翼隊ノ攻
撃ニ連繫シ主カヲ以テ先陸宅ノ奪取ヲ命セラル第一大隊ハ此日

右ヨリ第三第二中隊ヲ第一線トシ第一第四中隊ヲ中央後ノ豫備トシ
 又機関銃中隊ヲ第一線西中隊ノ中間ニ出シ櫓網灣西側ニ展開シ
 テ攻撃ヲ前進セルモ既ニ右羽異隊ニテ奪取セルト稱スル白壁一軒屋④
 方向ヨリ猛烈ナル側背射ヲ受ケ忽チ死傷續出シテ攻撃意ノ如ク
 ナラス第三中隊ノ一部ハ白壁一軒屋ノ敵ニ向ヒ大隊長亦第四中隊ヲ
 第三中隊ノ左ニ増加シテ極力前進ヲ督勵セリ
 第一線中隊ハ敵ノ猛火ヲ排シテ前進ス前進遂ニ第三中隊ハ蛇頭
 形タリ一ノ頭ニ在ル⑤ノ陣地ヲ奪取シ續イテ深サ一ハ〇幅ニ〇米
 ノクリークヲ渡ッテ⑥ノ陣地ニ突入、峯田戰格闘ノ後其一角ヲ奪
 取ス敵ハ第三中隊ニ對シ逆襲シ來リ其陣地ハ確保危險ニ頻
 セシヲ以テ第一中隊長山本中尉ハ獨斷第一線ニ進出シテ第三中隊ノ
 右側ノ敵陣ニ突入シテ同地ヲ占領シ以テ⑥陣地線ノ占領ヲ確實ナ
 ラシメタリ本戰闘ニ於テ第三中隊ハ戰死ニ二員傷八九名ヲ出セルニ見
 テモ如何ニ激戰ナリシカラハ規ヲニ足ル

敵ハ爾後數次ニ亘リ逆襲シ來リシモ之ヲ排除シツ、更ニハノ陣地ニ對シ攻撃ヲ準備ス

當時第四中隊ハ死傷續出シ殊ニ其幹部、多數ヲ失ヒ分離シテ第一第三中隊長ノ指揮ニ入りテ戰鬪シ第二中隊ハ(ホ)ノ陣地ニ對シ攻撃ヲ前進セルモ孟家宅方向ヨリ敵ノ側射熾烈ニシテ是亦死傷相繼ギ加フルニ敵ノ鐵條網ニ會シ攻撃ヲ進捗セスシテ夜ニ入ル

2. 聯隊主力方面

聯隊主力ハ蔡寧宅露營地ニ於テ午後三時第十三師作命第三十一號ニ依リ新ニ山田少將ノ指揮下ニ入ルヘキヲ命セラレ歩六五作命第二六號ヲ下達シテ急遽露營地ヲ出發ス 聯隊長ハ山口第二大隊長ヲ伴ヒテ先行シ午後六時王家橋ニ到着シ同所ニ於テ旅團長ヨリ歩百三旅作命第一五號ヲ達セラレ且一般ノ狀況ニ就キ詳細ナル指示ヲ受ク

聯隊長ハ本日ニ於テ我第一大隊ノ戰果ト孟家宅方面ニ於ケル第九

師團ノ戰績トニ鑑ミ主カラ以テ先ツ老陸宅附近ノ敵陣ヲ一舉攻略
シ次テ孟家宅附近ノ敵陣ヲ奪取スルニ決シ大要左ノ處置ヲ爲ス
一第一大隊ヲ右第一線ト爲シ依然現態勢ヲ以テ老陸宅ノ敵陣地ヲ
攻撃セシメ第二大隊(第六中隊ヲ欠キ)聯隊機關銃一小隊ヲ屬ス
左第一線トシ麻鬼橋頭ニ於テ第九師團ノ部隊ト交代シ上北部朱三
房ニ亘ル敵陣地ニ對シ攻撃ヲ準備セシム

又聯隊砲ヲシテ槽網灣南側地區ニ聯隊機關銃隊ヲシテ楊
家宅北側地區附近ニ各陣地ヲ占領シ主トシテ第一大隊ノ戰鬪ニ協
カセシメ又第六中隊ヲシテ即時槽網灣ニ至リ隨時第二大隊長ノ
使用ニ應シ得ルノ態勢ニ在ラシメ又第九中隊ヲ聯隊豫備隊トシ
同夜王家橋ニ位置セシム

各隊ハ同夜夫々所命ノ如ク前進シ其配置ニ就ク

3 同夜ニ於ケル第一大隊ノ態勢別紙要圖ノ如シ(附圖第三)

十月十七日

(晴)

ノ聯隊長ハ早朝王家橋ヲ發シ途中老宅ニ於テ山砲兵聯隊長ト會シ
爾後ノ戰闘ニ関シ協定ヲ遂ク此時偶々第一大隊長ヨリハ第一線中隊
長ヨリ突撃ヲ決行ノ意見具申アリ砲兵ノ射撃ヲ頼ムトノ電話アリ

聯隊長ハ之ヲ聽キ第一線中隊長ノ意氣旺ナルヲ喜ヒ且第一線ヨリ進
ンテノ突撃ヲナレハ必ス成功スヘキモノト確信シ砲兵隊長ト突撃ニ関シ協定
シタル後櫓網灣ニ至リ一般ノ狀況ヲ視察シタル後第一大隊長ニ對シ
聯隊主力到着ノ旨ヲ報シテ其志氣ヲ鼓舞ス午前八時頃左記要
旨ノ命令ヲ下ス(歩六五作命第二八號)

一、第一大隊(第六中隊ヲ增加ス)ハ午後三時ヲ期シ老陸宅ノ敵陣ニ突
撃ヲ決行シ同地ヲ奪取スヘシ

山砲聯隊ハミタ中隊ノ火カヲ以テ之ニ協力スル筈

二、第九中隊ハ第一線トナリ第二中隊ハ左ニ展開シ老陸宅東側陣地ニ
向ヒ突入スヘシ

尚聯隊長ハ同所ニ於テ既ニ二三日来戦鬪シタル歩百四聯隊長田代大佐
並第一大隊連絡將校窪田中尉ト會シ現地ノ狀況ニ就キ詳細
承知スル所アリ

聯隊長ガ第一大隊長其他ニ依リ敵情並地形ニ関シ知り得タル諸件
左ノ如シ

一 白壁一軒家ノ掃蕩完カラス同方向ヨリノ側背射最モ痛シ

ニ 前面ノ陣地ハ殆ト掩蓋銃座ノミテ平地一面陣地ノ如ク見ユ

三 附近ノクリークハ一般ニ河幅廣ク水深ハ頸丈以上ナリ河底ハ比較的硬
シ

四 老陸宅東側クリークハ幅十五米以上ニシテ其我岸ニ鉄條網及一連ノ
陣地アリ

五 前日第四中隊ヲ楊家宅方面ヨリ攻撃手セシメシモ孟家宅方面ヨリ
側背射ヲ受ケ終日前進出来ス遂ニ此方面ヨリノ攻撃手ヲ斷念
セリ

六老陸宅東側畑地ハ平坦開濶ノ綿畑ナリ

七老陸宅北方地區ハ墓地其他多少ノ起伏アリ

八老陸宅北側各陣地ハ鉄條網ナキカ如シ

九其他師團配布ノ空中寫真ニテ一般ノ地形敵陣地ノ大要ヲ知ル
午後二時三十分歩百三旅作命第一六號ヲ以テ新ニ第十二中隊ヲ復歸セ
ラレシヲ以テ豫備隊トシテ櫓廻灣ニ位置セシム

2. 第一大隊方面

第一大隊ハ聯隊命令ニ基キ午後二時三十分迄ニ突撃ヲ準備ヲ完了シ
午後三時砲兵ノ突撃ヲ支援射撃手ニ膚接シテ前面ノ敵陣地ハ對
シ突入シ之ヲ奪取シ更ニ③陣地ニ向ヒ突撃ヲ繼續セシトセルモ正面
及側方ノ敵陣地ヨリハ勿論殊ニ白壁一軒屋④方向ヨリ敵ノ背
射ヲ受ケ加フルニ馬家宅方向ヨリ敵迫撃砲彈ノ集中ヲ蒙リ
クリークノ線ニ於テ停止スルノ已ムナキニ至レリ

本突撃手ニ於テ第一中隊長中尉山本保第三中隊長中尉近藤永昌

3. 東正面

第四中隊小隊長少尉 佐川勇 共ニ陣頭ニ立ツテ奮勇進スレハ部下亦之ニ續キ群カル敵ヲ切り伏シテ前方ノ銃座ニ突入セントスレハ側方ニ在ル銃座ヨリ射撃サレ之ニ突進スレハ復タ前方ヨリ射タレ各兵阿修羅ノ如ク前ヲ切り後ルヲ突キ又左右ニ突進シテ一ツ／＼銃座ヲ屠ル此間敵ハ手榴彈ヲ投擲シツノ逆襲來リ其混戦亂闘何時果ツヘシトモ見エス 聯隊長ハ當時櫓網灣西端砲兵觀測所ニ在リテ此壯烈ナル光景ヲ目撃シテ思ハス手ニ汗ヲ握ル 本攻撃手ニ於テ歩兵砲、聯隊機關銃、聯砲中隊ハ共ニ有効機宜ニ適スル射撃ヲ爲シ克ク協カス

大隊長ハ第六中隊ヲ第一中隊ノ右翼ニ増加シ極力戦果ノ擴張ニ努メタルモ是亦大ナル成果ヲ見スシテ夜ニ入レリ

第六第九中隊ハ老陸宅東正面ノ敵陣地ニ對シ攻撃ヲ敢行セルモ當正面ハ全ク平坦開濶ノ綿畑ニシテ何等ノ掩護物ナク

孟家宅方向ヨリスル敵ノ側射並迫撃砲彈ノ爲迫迫作業ハ達々トシテ進マス何等ノ發展ヲ見スシテ夜ニ入ル

第ニ大隊方面(左第一線)

第ニ大隊ハ午前九時魔鬼橋頭ニ於テ歩兵第三六聯隊ト其第一線ヲ交代シ第五中隊ヲ右第一線トシテ魔鬼橋頭南端ノ線ニ又第七中隊ヲ北部朱三房ノ線ニ展開シ機關銃中隊ノ主カヲ以テ魔鬼橋頭朱三房中間地區ニ一部ヲ以テ朱三房附近ニ陣地ヲ占領シ第八中隊ヲ豫備隊ト爲シ孟家宅ノ敵ニ對シ攻撃ヲ準備ス

第一線中隊ハ匍匐前進ニ依リ遂次敵陣ニ迫迫セルモ此方面ニ亦重機迫撃砲ノ集中火熾ニシテ前進意ノ如クナラス漸ク魔鬼橋頭南方約五百米ノ線ニ達シ攻撃陣地ヲ構築シテ夜ニ入ル

同夜ニ於ケル狀況

(イ)午後九時歩百三旅作命第一七號ヲ受領シ左翼隊ハ夜ニ入ルモ依然攻撃ヲ強行スルニ決シ歩六五作命第二九號ヲ下達シ第一線ノ攻撃ヲ

ヲ督勵シ配屬山砲兵中隊ノ一部ヲ明排曉造ニ櫓網灣西側地區ニ推進シ主トシテ(△)ノ敵重火器ノ撲滅ニ任セシム尚クリーク渡河材料並ニ運搬等ニ関シ區處スル所アリ

(四) 第一大隊方面ニ於テハ彈丸雨飛ノ間奪取陣地ヲ改修シ又一部ノ陣地ヲ新ニ構築スシテ敵ノ回復攻撃ヲ備フルト共ニ前面クリークノ狀況並ニ其對岸敵陣地ノ偵察ニ努メ尚一部ハ後半夜クリークヲ渡シテ敵陣地ヲ奇襲セルモ奏功ヲ見スシテ終レリ

敵ハ終夜ニ亘リ手榴彈ヲ投擲シテ逆襲シ來リタルモ我將兵克ク之ヲ撃退シ敵ニ多大ノ損害ヲ與ヘ占領地區ハ確保ヲ全セリ十六日並本日ノ戰鬥ニ於テ將兵相繼テ斃レ各中隊ハ何レモ半数以下ニ減少セリ

(ハ) 東正面ノ第二第九中隊ニ於テモ夜ニ入ルヤ極力鉄條網ノ破壊ニ努メ強行夜襲ヲ企圖セルモ破壊班ノ多クハ斃レ一條ノ突撃路サヘ開設シ得ス尚正面ニ鉄條網ノ外ニ鹿砦ヲ設ケ其直後ニ一連ノ掩蓋銃座ヲ有シ陣地ノ強度ハ侮リ難キモヤリ

(二) 第一大隊方面ニ於テハ終夜工事ヲ實施セル外大ナル變化ナシ

6 本日 (夕ニ於ケル) 態勢別紙要圖ノ如シ (附圖第二)

十月十八日 (晴)

第一大隊方面

此日右翼隊タル歩兵第百四聯隊ハ午前十時ヲ期シ三家村ノ攻略ヲ企圖シ朝來同方面ノ銃砲聲頓ニ盛ナリ殊ニ白壁一軒家ノ敵重機ハ益々猛威ヲ逞シウシテ我第一大隊ノ北月後ヲ龍衣ヒ午後ニ至ルモ毫モ緩和セラレス

第一線中隊長山本、近藤両中尉ハ該陣地ニ止マルモ徒ニ損害ヲ招クノミナルニ鑑ミ砲兵ノ協カナクモ寧リ敵陣ヲ突破シテ死地ニ沿路ヲ求ムルニ如カスト寄りノ相謀リ午後三時ヲ期シ突撃ヲ啗ハト共ニ奮然ククリーク内ニ飛入り其對岸ノ敵陣地ニ突入シ奮戰格闘敵線ヲ突破シ其直後ニ點在セル敵陣地ニ屠リツ、一擧北部老陸宅ヲ占領シテ(ハ)ノ線ニ進出シ更ニ其前方大クリークヲ渡泳シ敵陣

突入セントセルモ中隊長ニ續ク者其多クハ敵死レ僅カニ數名ヲ算フルニ過キス
シテ遂ニ我岸ニ停止スルノ已ムナキニ至レリ時ニ午後四時ヲ過クル數分ナリ
聯隊長ハ第九中隊ノ攻敵手邊々トシテ進マス而カモ第一大隊主力方面ノ
戰果大ナルヲ稽ヘマシ引拔キラ①附近ニ集結シ隨時大隊長ノ使用ニ
應ジ得ルノ態勢ニ在ラシム

2 第二大隊方面

第二大隊ハ拂曉ヨリ攻敵ヲ開始シ當初第五中隊ノ攻敵手意ノ如クナラサ
リシモ機關銃中隊ノ勇敢ナル陣地變換ト機宜ニ適セル協力射撃
トニ依リ遂ニ午前九時後巷ノ敵陣地ヲ奪取シ更ニ孟家宅ノ敵
陣ニ對シ攻敵ヲ準備ス時ニ第五中隊長高久武中尉ハ挺身敵陣
地直前ニ至リテ偵察中敵迫撃砲彈並小銃彈ノ集中火ヲ浴ビ
名譽ノ戰死ヲ遂ク

北朱三房方面ニ展開セル第七中隊ハ清水顧方面ノ敵ヲ攻敵手ナル
モ大ナル戰況ノ發展ヲ見ス

此日、後巷、甃橋頭ニ對スル敵迫撃砲彈、集中烈シク爲ニ將兵ノ死傷セル者多シ

3. 各隊主計ハ此日ヨリ大行李員ヲ使役シテ後方王家橋ニ握飯ヲ作り又湯タンポニ湯ヲ充滿シ之ヲ先ツ櫓網灣ニ搬送シ此處ニ本部付高橋義雄少尉之ヲ受領シ更ニ之ヲ行李員及豫備隊員ヲ使役シテ第一線ニ運搬ス運搬兵ハ交通壕狹キ爲ニナカラ運ヒ途中死傷者ヲ生スルト多ク其補充ノ困難ナルト言語ニ絶ス

4. 同夜ニ於ケル狀況

(1) 聯隊長ハ第一大隊ノ勇戦克ク北部老陸宅ヲ奪取セルヲ激賞シ更ニ第一大隊長ニ對シ午後六時三十分及午後九時ノ二回ニ亘リ歩六五作命第三〇號並同三一號ヲ下達シテ占領地、確保註明十九日ノ攻勢ニ関シ細部ノ指示ヲ爲シ周到ナル準備ヲ整ヘシム

又同夜工兵聯隊長ト左記事項ヲ協定シ之カ實行ヲ命ズ

一 老陸宅北側及東側グリークニ各々渡河設備ヲ行フ

ニ火焰放射器ヲ以テ火點及老陸宅部落ノ燒却
ニ爆藥ヲ以テスル火點ノ破壊

特ニ火焰放射器ノ効果ニ期待ヲ懸ケ旅團長ニ對シテモ「本夜老陸宅ニ火焰ノ上ルヲ見ハ突撃ヲ成功ト承知セラレタシト」通報告シ終夜戰場ヲ望メトモ遂ニ上ラス

尚聯隊長ハ第二中隊ヲシテ老陸宅東正面ヨリ強行渡河セシメテ大隊主力方面ノ攻撃ヲ容易ナラシムル爲同夜エ兵一小隊ヲ配屬シテ東側クリークニ渡河設備ヲ行ヒ同方面ヨリ突撃ヲ命シタルモ傳令ノ戰死其他ノ手違ヒニテ本企圖ハ實施ヲ見スシテ終ル

又聯隊機関銃隊ヲシテ更ニ其陣地ヲ④附近ニ推進シ白壁一軒屋⑤方向ノ敵ヲ制壓シ第一大隊ノ攻撃ニ協力セシム

④第一大隊ノ第一線中隊ハ⑥陣地ヲ奪取セルモクリーク前岸ニ併列シア
ル十數箇ノ掩蓋銃座ヨリ間斷ナキ火制ヲ受ケ日没ト共ニ漸ク⑥附近ニ在ル竹藪ノ一軒家ヲ據點トシテ敵陣地ノ改修補備ヲ行ヒ以テ

も領地ノ確保ニ努メ前夜ニ倍加スル敵ノ逆襲ヲ排除シテ聯隊長ノ企圖スル明十九日午後一時ヨリ行フ光陸宅ノ攻略ニ對シ工兵中隊ト相協力シ前方クリークノ偵察並ニ渡河準備、大隊重火器ノ陣地推進突撃ノ陣地ノ横間、銃眼射撃ノ設備等ヲ爲シ又工兵ノ火焰放射器ノ使用ニ協力シテ敵火點並ニ部落ノ焼却ニ努ム然レトモ敵ノ寸前ニ於テ猛火ヲ浴ヒツ、此等器材ノ運用ハ難事トシテ遂ニ大ナル效果ヲ見スシテ終レリ

(イ) 第二大隊方面ハ依然進迫作業ニヨリ敵ニ進接セル外大ナル變化ナシ
 (カ) 本日夕ニ於ケル態勢別紙要圖ノ如シ(附圖第三)

十月十九日 (晴)

人聯隊長ハ此日朝迄ニ左記諸件ヲ知ル

- 一 第一中隊ハ東正面ヨリ轉位シ目下光陸宅北側地區ニ在リ
- 二 三家村及白壁ノ一軒家ハ未ダ攻略完カス同方面ヨリノ背側射依然ナリ
- 三 光陸宅北端ノ線ニ在ル一連ノ掩蓋陣地ニ十四箇ノ自動火器ト外ニ銃

矢ヲ配シアリ就中東北角ノ隙地ハ一段小高キ所ニ在リテ最モ猛威ヲ逞
フシアリ又其傍ニ在ル樹木上モ敵兵現出シテ射撃ス

同突角ハ我砲兵ノ射撃ニ便ナル爲一昨日來常ニ射撃シ射撃モ良
ク命中スルモ何等ノ損害キモノ、如ク再ヒ射撃ヲ爲ス

四北側クリークハ其幅三百十米點ニ葦ヲ生シ深サハ二米以上ノ所モアリ又頸

位ノ所モアリテ段々ニナリアルモノ、如ク又前岸ハ

銃眼ヲ設ケアリ

依シテ聯隊長ハ本日ノ主攻ヲ此一角ニ指向スルニ決シ第一大隊ヲシテ先ツ此

一角ヲ占領シタル後遂次戦果ヲ擴張セシムルヲ得策ト考ヘ午前七時

歩第三旅作命第一八號ニ基キ歩六五作命第三三號ヲ下達シテ攻撃

ヲ準備セシメ又砲力砲兵ニ對シテモ其企圖ヲ明示シ射撃ニ関シ協

定ス

2. 第二大隊方面

第一大隊ハ前夜來大ニ攻撃ヲ準備シ努力シ本日ヨリ老陸宅ヲ奪取

(學)



至ハ意氣ニ燃キ午後一時ヲ待ツ然レトモ三家村方向ヨリスル北月射ハ後方
トノ連絡ヲ困難ナラシメ命令通報ノ傳達ハ固ヨリ渡泳材料タル救命胴
衣竹筒等ノ搬送意ノ如クナラヌ殊ニ中隊長ノ最モ苦セルハ部下ノ整理
ニシテ中隊ハ混淆シ臨時編成部隊トシテ顔馴見モ薄ク加フルニ交
通壕ハ狭クテ自由ニ之カ入レ換ヲ許サス

正午頃ヨリ二十四榴及十五榴中隊ハ馬家宅及新陸宅附近ニ又山砲
聯隊ノ主力ハ老陸宅及白壁ソノ軒家附近ニ對シ支援射撃ヲ開始ス
敵ノ火點ハ砲撃間一時沈黙ノ状態ニ在ルモ一度砲撃ヲ止ムルヤ俄然
猛火ヲ吐キ砲撃ヲ前ト何等異ナルナシ

我第一線將兵砲彈ニ膚接シテ前進スルヲ知ラサルニアラス又勇氣ナ
キニアラス膚接距離ハ既ニ前進シ砲撃間敵前僅ニ五十米ヲ隔ルル壕
内ニ在リテ辛ウシテ其危害ヨリ免カレアルナリ而カモ尚進ムヘク殘サレタル四十
米ノ距離ハクリーク幅ニシテ鬼神、鉄石ニアラレハ亦能クシ能ハサル所ナリ
然ルニ我第一線ハ將兵多ク裸体トナリ浮袋ヲ背負ヒ砲兵ノ射程ヲ延

伸スルヤ突敵手喇ハラ吹キテ猛然クリーク内ニ飛入りテ前岸ノ敵陣地ニ突敵手セリ突敵手ノ第一波ニ波ト反復決行スルト數回逐ニ正面陣地ノ①④中間ノ一角ヲ奪取シ將ニ全線崩壊ヲ思ハシメタルモ敵ハ執拗モ手榴彈ヲ投シテ逆龍衣シ來リ我勇士相繼イテ壯烈無比ノ忠死ヲ遂ク

此狀況ヲ眼前ニ見ル將兵切齒クリーク内ニ飛入ルモ只無念ノ聲ヲ殘シテ敵死ルハノミ

斯クシテ肉彈ニ繼グニ肉彈ノ猛攻モ遂ニ奏効ヲ見スシテ日没トモ此日第六中隊長中尉楊村正巖ハ右第一線中隊トシテ率先先頭ニ立ツテ東部老陸宅西北端附近ニ向ヒ突入シ敵彈ノ爲喉ヲ貫通セラレシモ剛毅ノ中尉ハ毫モ屈セス血ヲ吹キツテ前進人ヲ令シ遂ニ壯烈ナル戦死ヲ遂ク

聯隊長ハ本部付太田比呂川南少尉ヲ第一線ニ派遣シ志氣ヲ鼓舞シ且狀況ヲ實視セシム

3. 第三大隊方面

終日孟家宅附近ノ敵陣地ニ對シ近迫作業ヲ實施ス

昨日來敵迫數手砲彈ノ落下漸ク多キヲ加フ

4. 同夜ニ於ケル狀況

午後九時左記松井軍司令官ノ訓示ヲ達シ第一線將兵ニ傳達シ其志氣ヲ鼓舞激勵ス

訓示

軍司令官ハ特ニ孟家宅村老陸宅ノ陣地ノ堅固ナルヲ諒解セリアリテ而モ特ニ重要ナル個所故一層奮勵努力シ速カナル攻略ヲ望ムト特ニ希望セリタリ

又本日夕ニ於ケル態勢別紙要圖ノ如シ(附圖第三)

十月二十日

(晴)

ノ聯隊長ハ歩百三旅作命第一九號ニ基キ午前八時三十分歩六五作命第三三號ヲ下達シ聯隊ハ依然主力ヲ以テ老陸宅ノ敵ヲ攻撃スルト共ニ更ニ交通壕ノ増築、銃眼射撃ノ設備、突撃陣地ノ掘削實施

シ又右聯隊ノ午後一時ヨリ行フ三家村ノ攻撃ニ對シ聯隊機關銃隊
聯隊砲中隊歩兵砲隊ノ一部火力ヲ協力セシメ又第一大隊長ヲシテ一
部ヲ以テ右聯隊ノ左ニ連繫シテ攻撃手前進ノ處置ヲ講セシム之カ
爲新ニ第九中隊ヲ増加セリ

又第二大隊方面

第一大隊ハ午前五時三十分(二十日)工兵爆破班ヲ先頭ニ工兵細張班歩
兵ノ決死隊歩兵中隊ノ主力ノ順序ニ又機關銃ヲ以テ河岸ヨリ掩護射
撃ヲ爲サシメラ突撃手ヲ密着行セシモ敵ノ猛射ニ遭ヒテ工兵ノ決死隊先ツ
敵死レ步兵ノ決死隊續イテ敵死レ又爆破隊ハ彈藥ヲ投擲シテ命中
セルモ其効力十分ナラス工兵及步兵ノ一部クリーク前岸ニ到着セルモ
敵ノ側射ノ爲ニ全員敵死レ渡河不可能トナリ遺憾ナカラ突撃手不成
功ニ歸ス(以上第二大隊長ノ報告)

爾後大隊ハ主トシテ交通壕及陣地ノ增強死傷者ノ處置等ヲ爲シ
爾後ノ攻撃手ヲ準備ス

午後四時頃敵、重砲大隊本部ニ命中シ大隊副官鈴木進齊、
藤佐藤兩任長負傷シ大隊長公用兵戦死ス同時頃右聯隊ノ攻撃
奏功スルヤ速ニ一部ヲ田代部隊ノ左ニ連繫シテ突進セシメ該方面ニ據
點ヲ占領スヘイトノ聯隊命令ニ基キ第六中隊一部ヲ同方面ニ進出セシ
メクルモ何等ノ進展ヲ見スシテ夜ニ入ル

聯隊長ハ本部 附太田久米兩少尉ヲ第一線ニ出シ狀況ヲ偵察セシム
3. 第三大隊方面ニ於テハ敵ノ間斷ナキ迫撃砲彈下ニ在リテ依然對
壕作業ヲ續行シアリ作業中所々ニ遮蔽物ヲ配置シテ敵眼ヲ
避ク

又同夜ニ於テ狀況

(1) 午後八時歩百三旅作命第三ニ號ニ依リ新ニ第三大隊ヲ増加セシメタ
ルヲ以テ聯隊長ハ第三大隊(第九、第十二中隊欠)ヲ右第一線トシテ第
一大隊ノ右翼ニ展開シ馬家宅東方約三百米ノ獨立家屋ノ線ニ在ル
敵陣ニ對シ攻撃ヲ命シ尚聯隊砲及聯隊機關銃ヲシテ其陣地ヲ

各々老陸宅北方地區ニ變

換シ主トシテ第一大隊ノ攻撃ニ協力セシム

(四) 第三大隊ハ同夜第一大隊ノ右ニ展開シ所命ノ敵陣地ニ對シ夜半頃ヨリ近迫作業ヲ開始シ攻撃ヲ準備ス

同夜聯隊長ハ今迄ノ戦果ニ鑑ミ第一線部隊ニ待ニ準備時間ヲ與フルノ必要ヲ痛感シ周到ナル準備ノ下ニ明後日第一大隊ヲシテ最後ノ突撃ヲ敢行セシムルニ決シ午後九時步六五作命第三號ヲ下達シ各隊ヲシテ明二十一日終日周到ナル準備ヲ爲サシム

本日タニ於ケル態勢別紙要圖ノ如シ(附圖第三)

十月三十一日(晴)

ノ聯隊長ハ明二十二日ノ攻撃ニ関シ協力部隊ト協定シテ別紙攻撃計畫ヲ作爲シ先ツ其要旨ヲ傳ヘテ準備セシム

又第一大隊ハ主カヲ以テ東部老陸宅一部ヲ以テ東西老陸宅中間地區ヨリ突撃ヲ敢行シ得ル如ク準備シ又第三大隊ハ西部老陸宅ニ對シ逐次近迫作業ニ依リ近接シ突撃ヲ準備ス

步兵砲隊、聯隊砲中隊、聯隊機關銃隊各陣地ヲ變換シテ東
西老陸宅北側並ニ三家村南側地區、馬家宅東側地區ニ現出
スル敵重火器ニ對シ銃砲眼射撃ヲ準備ス

又第三大隊ハ依然進迫作業ニ依リ前進シ日没時頃迄ニ敵前六十
米ノ線ニ突撃陣地ヲ完成シ得ル状態ニ在リ

又大隊長ハ孟家宅正面ノ敵陣地堅固ニシテ且有効ナル敵ノ斜射側
射ニ依リ攻撃ヲ困難ナルニ反シ朱三房附近ノ攻撃ハ比較的容易
ナルモノト判断シ明早曉兵カラ該方面ニ移動シテ攻撃スル旨報
告シ來ル

又本日夕ニ於ケル態勢別紙要圖、如シ(附圖第三)

十月二十二日

ハ第二大隊方面

正子頃ヨリ磨鬼橋頭ニ對シ敵ノ迫撃砲彈無慮數百發ノ集中射撃
アリ

午前零時三十分頃後巷ニ在リシ第五中隊正面ニ對シ敵兵約三四百夜龍衣シ來リ同中隊及機關銃中隊之ヲ及撃シ多大ノ損害ヲ與ヘテ撃退セリ敵ノ遺棄セル屍体百五十余ヲ確認ス

午前三時及四時三十分ノ二回ニ亘リ須宅ニ在リシ第七中隊ニ對シ花家橋宅方向ヨリ約四五十名ノ敵兵來龍衣シ第七中隊ハ敵ニ多大ノ損害ヲ與ヘテ撃退セリ

午前七時三十分其第一線ヲ步兵第百十六聯隊ト交代シ陳家宅ニ至リ師團ノ豫備隊トナル

2. 第一大隊方面

友軍砲兵隊ハ攻撃計畫ニ基キ午前十時三十分ヨリ攻撃ヲ開始シ同十一時頃ニ至リテハ先陸宅ハ砲煙ト土砂トニ包マレテ殆ト村影ヲ認メス

第一線中隊ハ敵側防火ノ爲午前十一時ヨリ稍遲レテ突撃ヲ決行セシモ遺憾ナカラ不成功ニ終リ更ニ午後三時機ノ熟スルヲ待ツ全線ニ亘リテ發煙筒ヲ焚キ再ヒ突撃ヲ敢行シ幸ニ東北角ト附近ヲ奪

取シ同ノ血ヲ沸カシメタモ敵ノ執拗ナル恢復攻勢ヲ爲我忠勇ナル
 戦士共殆ト歟死レ無念再ヒ敵ヲ委ヌルニ至リ其怨恨永遠ニ消ヘス
 聯隊長ハ本部附鈴木久米西少尉ヲシテ第一線ノ状況ヲ實視偵察
 セシム

3. 第三大隊モ亦第一大隊ト相前後シテ西部老陸宅ニ向ヒ突撃シシ
 第十一中隊長大木繁夫少尉率先㊦ノ敵陣ニ跳リ入リテ敵兵數
 名ヲ切り之ヲ占領セル利那名譽ノ戦死ヲ遂ク之ヲ見タル同中隊ノ佐
 久間徳光少尉續イテ其右翼ニ連繫シテ突入シ同地ヲ確保シ爾後
 直前十米ノ敵ト相對シ奮闘中遂ニ名譽ノ戦死ヲ遂ク
 又第十中隊石上信雄少尉ハ西部老陸宅ノ西方クリクヲ超越シテ西
 北角㊦附近ニ突進シテ同所ノ守兵ヲ切り爾後同陣地ニ在リテ其直
 南ト一チカ陣地及新陸宅方向ノ敵ト對戦セルモ不幸名譽ノ戦死ヲ
 遂ク

爾後大隊長ハ老陸宅西側地區ニ戦果ノ擴張ニ努メタルモ遂ニ成ラズ日没

トナル同夜大隊長ハ主力ヲ以テ西老陸宅西側地區ヨリ張涇クリークノ線ニ進出ヲ企圖セルモ不成功ニ終ル

同夜ニ於ケル狀況

(1) 聯隊長ハエ兵聯隊長^長協定シ蛇頭形クリーク①方向ヨリ一部ヲ舟ニ乗セ主力ヲクリークニ沿ク陸地ヨリ東部老陸宅東北角①陣地ニ向テ奇襲突撃ヲセシムルニ決シ聯隊豫備隊タル第十二中隊ヨリ岡崎少尉以下二十三名(岡崎少尉伍長厚海敏丸齊藤市次郎上等兵芳賀柳平鈴木重雄一等兵古内新太郎齊藤九郎長田正彦中野藤吉相澤博鈴木仙介五十嵐幸助樋増身武藤忠伊藤金市鈴木正雄菅野兼藏安部幸久浜中勝美小泉誠外島藤雄平宮誠須田要吉以上二十三名)エ兵隊ヨリ兵六名ノ決死隊ヲ編成シ之ニ當ラシム決死隊員ハ爆藥其他ヲ準備シ何レモ一死報國悲壯ノ決意ヲ以テ壯途ニ就ク仲秋ノ月天ニ牙ヘ行ク者皆聯隊長ノ手ヲ握リ肩ニ縋ル然ルニ

30
1-16

1907

天無情、未ク勇士ノ心ヲ解セス岡崎少尉先シ中途ニ傷キ厚海伍
長代ツ指揮シ所命ノ如ク突入セルモ工兵隊ノ爆藥ハ舊式ナリ
シタメクリークヲ泳キテハ濡レテ點火セス而カモ敵彈ハ容赦ナク勇
士ノ身邊ヲ縫ヒ遂ニ不成功ニ終ル

此夕第一大隊長ノ連絡トシテ中尉寶田長次郎本部ニ來リ具サニ
大隊ノ狀況ヲ報告ス聯隊長ハ本夜ヲ以テ第一大隊ノ最後ノ攻勢ヲ
クラシムヘク最後ノ奮闘ヲ要求シ且志氣ヲ激勵ス中尉又悲壯
ノ決意ヲ以テ歸還ス

大隊長山口憲三決スル所アリテ第一線各中隊ヲ整理シテ集成中隊
ヲ編成セシメ第一中隊長山本中尉ヲ以テ之ヲ指揮セシム

次テ中隊ヨリ十名ノ決死隊ヲ募リ岡崎決死隊員ト併行シテ敵陣
突破ス企圖ス然レトモ是亦頑強ナル敵重火器ノ爲或ハ河中ニ
溺死レ或ハ彼岸ニ憤死シテ不成功ニ終ル

(四) 第一大隊カ十月十六日老陸宅ノ攻敵ヲ命セラレテヨリ茲ニ一週日不眠不休健闘ニ健闘ヲ重不此間補給意ノ如クナラサリシ爲糧食飲料水ノ供給ヲ缺キシト二日雨後ノ壕内ハ水壕ニ等シノ將兵ノ多クハ裸体トナリ顔モ身体モ泥ニ塗レ血ニ染ミテ其誰ナルカラ判シ難ク夜ハ濡レテ寒サニ慄フ隙モナク敵ノ逆龍水及狂氣的射彈ニ見舞ハレ而カモ朝ニ上官ヲ失ヒ夕ニ戰友ノ死ヲ送り命令ヲ傳フルニモ又報告ヲ出スニモ僅カニ三百米ニ足ラサル處ヲ一二時間ヲ要シ其指揮ノ困難ナル到底想像ノ能クシ能ハサル所此間ニ處シテ將兵更ニ屈セス常ニ不退轉ノ勇氣ヲ以テ不屈不撓猛攻ヲ續ケタルモノハ實ニ我カ第一大隊ナリ聯隊長ハ同大隊ノ手ヲ以テ是非共老陸宅ヲ奪取セシメタク念願シアリシモ今ヤ多クノ勇士ヲ失ヒ將兵亦漸ク疲勞ノ色アリ

之ニ代フルニ新銳ナル第二大隊ヲ以テ敵ニ最後ノ一撃ヲ加ヘテ我勇士ノ英靈ヲ弔ハント決シ午後九時三十分作命第三六ノ二ヲ下達シテ

交代ヲ令ス。是ヨリ先山口武臣少佐ヲ招致シ當面ノ狀況ニ就キ詳細指示スル所アリ

ハ第三大隊ハ日没後櫓網灣ニ到着シ大隊長ハ各中隊長ヲシテ交代ニ関スル準備ヲ爲サシム

ハ本日夕ニ於ケル態勢別紙要圖ノ如シ(附圖第三)

十月二十三日

ハ聯隊長ハ午前十時步六五作命第三七號ヲ以テ第七中隊長ヲ以テ第七中隊及第五中隊ノ一小隊、聯隊機関銃一小隊ヲ併セ指揮シ三家村ニ於テ田代部隊ト交代シ爾後同地ニ在リテ警備ニ任セシム

ハ第二大隊ハ未明櫓網灣ヲ出發シ先陸宅北方地區ニ於テ第二大隊ト交代ヲ開始セルモ敵火熾烈ニシテ交代意ノ如ク進捗セス大隊長ハ第一線ヲ督勵シテ自ラ一小隊長トナリ分隊長トナリテ敵火ノ下ヲ東奔西走之カ指導ニ當リ漸ク午後二時三十分概ニテ○ノ線ニ突撃態勢カラ整ヘ突撃ヲ準備ス我空爆及砲撃ハ既ニ開始セラレ大隊長ハ悲壯ノ

決意ヲ以テ愈々突撃ニ関スル命令ヲ下ス第八中隊長志賀繁中尉
既ニ覺悟スル所アリ機關銃中隊長片岡中尉ヨリ末期ノ水ヲ受ケ
突撃ヲ令スルヤ奮然ク一隊内ニ飛入りテ敵陣目懸ケテ突入ス同隊
小隊長小檜山正雄少尉以下突撃ノ第一波之ニ續ク

右第一線タリシ第六中隊亦前後シテ突撃ニ前進シ兩中隊ノ一部
前岸ニ達シテ附近ノ一火點ヲ奪ヒ大隊長ヲシテ突撃成功ヲ思
ハシメタルモ末ノ間敵ノ常套手段ノ手榴彈ノ爲此等勇士ノ大部ハ
斃レ爾後遂ニ戦果ノ擴張ヲ見スニテ夜ニ入ル本突撃ニ於テ志賀
中尉小檜山少尉何レモ河中ニ於テ壯烈ナル戦死ヲ遂ク

3. 第三大隊ハ更ニ突撃陣地ヲ推進シテ戦果ノ擴張ニ努メタルモ遂ニ大
ナル成果ヲ見スニテ終ル

4. 第四大隊ハ所命ノ如クニ中隊ヲ以テ糟田灣ニ於テ聯隊豫備トナシ他
ノ主力ヲ以テ王家橋ニ位置シテ旅團ノ豫備隊トナル
5. 同夜ニ於ケル狀況

1911

(イ) 聯隊長ハ最後ノ一撃ノ遂ニ不成功ニ終レルヲ知り遺恨骨髓ニ徹ス午後十時歩百三旅作命第二五號ヲ受領シ歩六五作命第三ハ號ヲ下達シ第一線各隊ヲシテ現在線ヲ確保シテ爾後ハ戦闘ヲ準備セシムルト共ニ後方ノ整理ニ努力セシム

此夜此方面ノ攻撃ヲ一先ツ中止シ聯隊ノ攻撃方向ヲ馬家宅及其北方地區ニ指向スルニ決ス

(ロ) 第三大隊長ハ同夜更ニ主力ヲ以テ東西先陸宅中間地區ヨリ一撃ヲ長湓リークノ線ニ突進ヲ企圖シ準備スル所アリシモ大ナル變化ナシ

(ハ) 第三大隊ハ依然攻撃陣地ヲ推進シテ戦果ノ擴張ニ努ム

尚新ニ復歸ヲ命セラタル第十三隊ヲシテ(イ)附近ニ在ル一野家ヲ占

領ニ任セシム

6 本日夕ニ於ケル態勢別紙要圖ノ如シ(附圖第四)

十月二十四日 (晴)

ノ軍當面ノ敵ハ退却中ニシテ師團ハ速ニ南翔方面ニ進出シテ敵ノ退路

遮斷ヲ企圖シ中央隊亦速ニ馬家宅方面ノ敵ヲ撃滅シ八字橋方面ニ
前進セシメテ企圖シアリ

依ツテ聯隊長ハ第三大隊ヲ速ニ三家村方面ニ轉用シテ馬家宅北方地區
ヨリ八字橋ニ又第三大隊ヲシテ馬家宅ノ敵ヲ突破シテ八字橋ニ進出セシ
ムルニ決シ午前九時三十分歩六五作命第三九號ヲ下達ス

午後二時四十分清水顧附近ノ敵兵退却ノ徴アルニ鑑ミ作命第四〇
號ヲ下達シ第一線兩大隊長ニ對シ更ニ攻撃ヲ督勵シ追撃ヲ
進テ備セシム

然ルニ聯隊當面ノ敵ノ抵抗ハ依然トシテ頑強ヲ極メ一擧ヲ揚潁クリーク
ヲ渡河シ得サル狀況ニアリシヲ以テ別紙攻撃計畫ヲ立案シ各隊ヲシ
テ追迫作業ニ依リ先ツ揚潁クリーク我岸ノ敵ヲ一掃シ次テ同クリーク
ノ渡河ヲ決行スルニ決シ午後四時更ニ作命第四一號ヲ下達ス

第二大隊ハ聯隊命令ノ遵達ヲ三家村方面ヘ移動意外ニ遅レ漸ク
午後十時頃其大部ノ集結ヲ終リ爾後攻撃計畫ニ基キ終夜(卅)ノ線

1913

1-367

ニ向ヒ近迫作業ヲ實施シ又第七中隊ノ一小隊ヲ以テ明掛曉ヲ期シ
陸家橋ノ攻勢ニ任セシム

3 第三大隊ハ聯隊命令ニ基キ其攻勢ノ方向ヲ馬家宅ニ指向スル如ク第一
線ノ態勢ヲ換ヘ午後三時三十分一齊ニ⑦陣地ニ突入シテ之ヲ占領シ
爾後ノ攻勢ヲ準備ス

此頃③ノ一新家モ第十中隊ノ爲ニ占領セラレ大隊ノ右翼ニ對スルガ月戚ハ
除カレタリ

4 本日夕ニ於ケル態勢別紙要圖ノ如シ(附圖第四)

十月二十五日

(晴)

(午前七時頃ヨリ十時頃)
逆風霧アリ

ノ聯隊長ハ前夜第三大隊長ヨリ陸家橋附近ノ敵情並ニ之ヲ攻撃スニ關ス
ル報告ニ接シ速ニ同村ヲ占領スルノ必要ヲ感シ午前六時作命第四ニ號ラ
下達シ新ニ第五中隊ヲ同方面ニ派遣シ第七中隊ノ一小隊ヲ併セ指揮
シテ同村ノ攻勢ニ任セシム

然ルニ此朝第三大隊長負傷シ陸家橋ノ攻勢遲タリシテ進マズ依ツテ

午後三時三十分作命第四三號ヲ下達シ新ニ第三中隊ヲ同方面ニ増加シ
同中隊長ヲシテ之カ力攻ニ當ラシム

然ルニ其後第三中隊長負傷セルヲ以テ再ヒ第五中隊長ヲシテ指揮セシ
ルニ至ル

2. 第二大隊方面

第二大隊ハ折柄ノ濃霧ヲ利用シ午前八時稍過キ全線突撃ヲ移リ
①ノ陣地ニ向ヒ突入シ同地ヲ占領シ大隊長山口武臣少佐ハ更ニ④陣地ニ
向ヒ突進ヲ令セントスル際陸家橋方面ヨリ飛來セル敵彈ノ爲下顎
部ヲ粉碎セラレテ鮮血淋漓タリ剛毅ノ大隊長ハ毫モ屈セス更ニ戰
闘ヲ繼續セントセシモ致命ノ傷ヲ受テ終ニ後送ヲ餘儀セラル其際聯隊長
ニ當テタル血染ノ報告文九ノ如シ(午前十時三十分發)

一 大隊ハ楊涇クリークヲカニ渡河セントス 二 正兵中隊到着セリ

三 片岡中尉ニ後事ヲ托ス 四 大隊ノ志氣旺盛 五 クリークヲ渡スニテ負傷
セシヲ遺憾トスセメテ第一線ニ立チテ指揮シ受傷セルヲ慰トス

大傷極メテ、淺シ齒ヲヤラレシミ、再ヒ第一線ニ立ツヲ待ツ

爾後片岡中尉大隊ノ指揮ヲトル

大隊ハ大隊長ノ負傷ニ攻勢ヲ前進一時頓挫セルモ之ヲ見タル機関銃中隊長代理佐藤幸之丞少尉身ヲ殺シテ突撃ヲ誘起セシメ、欲シ歩兵第一線ヲ超越シテ前方ニ

陣地變換ヲ命シ自ラ小分隊長ヲ率ヒテ躍進シ、陣地直前ニ至リシトキ遂ニ壯烈ナル戦死ヲ遂ク

又第八中隊長代理原田少尉ハ率先陣頭ニ立ツヲ部下ヲ叱咤激勵シ、陣地ニ突入シ之ヲ占領セル際之亦壯烈ナル戦死ヲ遂ク

大隊ハ爾後戦果ノ擴張ニ奮闘セルモ漸ク濃霧霽齊レテ四周ヨリノ敵火烈シク戦況ノ進展ヲ見ス、依テ大隊長ハ薄暮ヨリ第六第八中隊ヲシテ現位置ヨリ依然攻勢陣地ヲ推進セシメ、又第七中隊ヲシテ、陣地ヲ縱方向ニ掃蕩占領スヘキヲ命シ夜ヲ徹ス

3. 第三大隊方面

第三大隊モ高朝霧ヲ利用シテ、敵陣ニ突入シ同地ヲ占領シ又一部ヲ以テ

(小野准尉) ③ 附近ノ四ヶ併列ノ掩蓋銃座ヲ占領ス爾後再び追迫作業ニ依リ④ノ陣地ニ對シ攻撃ヲ準備シ夜ヲ徹ス

同夜先陸宅方面ノ敵兵動搖ノ色アリ又女ノ嬌聲アリ

陸家橋攻撃部隊ハ死傷多ク第七中隊ノ一小隊ハ如キハ殆ト全滅ノ状態ニアリ

公 聯隊長ハ本夜現陣地ヲ確保シ依然豫定ノ攻撃計畫ニ基キ攻撃ヲ準備スルニ決シ午後五時三十分作命第四號ヲ下達シ第一線大隊ヲシテ追迫作業ニ努メシメ尚第二大隊ヲシテ速ニ隊伍ノ整頓ヲ行ハシム

6 本日夕ニ於テ態勢別紙要圖ノ如シ (附圖第五)

十月二十六日

入 前日同様濃霧アリ第三大隊長ハ再び之ヲ利用シテ④ノ陣地線ヲ奪取シ更ニ攻撃築木城ニ依リ⑤ノ陣地ニ肉迫シ夜ヲ徹ス

之午前六時第七中隊ハ楊涇クリーク橋梁ヲ渡河シテ前面ノ敵陣地ヲ奪取セリトノ報告アリ聯隊長志氣大ニ昂リ聯隊長ハ同方面ヨリ直ニ戦果

ヲ擴張スルニ決シ第一線大隊長ニ之カ利用ヲ命シタルモ暫クシテ揚
 涇川一クニアラサルヲ知り依然追迫作業ニ依ル攻撃ヲ續行セシム

3. 聯隊長ハ陸家橋ノ攻撃意ノ如クナラス加フルニ之カ爲第三大隊ノ右
 翼危険ナルヲ知り第三大隊ノ同方面ヨリスル追迫作業ヲ一部ノ監視
 ニ止メシメ主カヲ以テ陸家橋ヲ奪取セシムルニ決シ午後一時作命第四五
 號ヲ下達シ準備セシム

4. 聯隊副官小島少佐ヲシテ終日ニ亘リ三家村及第三大隊方面ノ狀況ヲ
 實視セシメタル結果陸家橋ノ速ナル占領及老陸宅ニ一部ノ警戒戒
 兵アルニミシテ今攻撃スレハ成功確實ナルヲ知り又同夜九時歩百三
 旅作命 第三號ニ依リ陸家橋、老陸宅ニ對スル攻撃ヲ準備スル
 如ク命セラレシヲ以テ午後九時三十分歩六五作命第四六號ヲ下達シ第三大
 隊ヲ右第一線トシ三家村方面ヨリ陸家橋ノ敵ニ向ヒ明後二十八日午前
 十時迄ニ突撃ヲ決行シ得ル如ク準備ヲ命シ又第三大隊ヲシテ揚涇
 クリーク左岸ニ於テ最モ堅固ナル渡河準備ヲ命シ尚新ニ第一大隊

ヲ左第一線トシテ楊家宅方面ヨリ老陸宅ニ向ヒ明夜半迄ニ突撃準備ヲ完了スル如ク命シ夫々準備セシム

今本日夕ニ於ケル態勢別紙要圖ノ如シ(附圖第五)

十月二十七日 (晴)

ノ此日早朝ヨリ小島聯隊副官ヲ三家村ニ派遣シ同方面ノ情況ヲ視察セシムト共ニ第二大隊ノ攻撃ヲ指導セシム

2. 第二大隊(陸家橋)方面

大隊長ハ午前十一時前後ニ至リ陸家橋方面ノ敵兵頓ニ沈黙セルヲ見又聯隊副官ノ從心通ニヨリ第六中隊ノ松崎小隊ヲ以テ威力偵察ヲ敢行シ同部村落ニ突入之ヲ占領スヘキヲ命シ爾余ハ直ニ之ニ應ジ得ルノ態勢カニ在ラシム

松崎小隊ハ壕外ヲ區分前進ニ依リ勇敢ニ突進シ午後一時頃陸家橋東側陣地ニ突入シテ之ヲ占領ス爾後同村東北端ノ附近ニ進出シ北方ノ敵ヲ攻撃ス大隊長代理片岡中尉ハ此狀況ヲ目撃スルヤ午後二時本部

ヲ率ヒテ同部落中央ニ突進シ爾後^{第三}方向ヨリスル敵ノ十字火ノ中ニ在リ
テ叱呼激勵シ午後三時漸ク到着セル^{第八}中隊ノ小泉小隊ヲ同部落
西端ニ進出セシメ次テ逐次到着スル機関銃隊及第八中隊主力
及第六中隊ヲ以テ完全ニ同部落西端ノ線ヲ占領シ爾後^{第九}中隊
我岸ノ敵陣地ニ對シ攻撃ヲ準備ス

又左第一線タリシ第五中隊ヲシテ^{第十}中隊ヲ占領セシメタル後其西
側^{第十一}中隊ニ在ル陣地ヲ奪取セシメ(土田小隊勇敢ニ奮闘)爾後
該線ヲ確保シ^{第十二}中隊ノ陣地ニ向ヒ攻撃ヲ築城ヲ行フ同中隊ハ敵ノ包
圍火ノ中ニ在リテ終夜苦闘セリ

陸家橋攻撃ニ方リ歩兵砲隊、聯隊砲隊克ク協力支援ス

3. 第三大隊(馬家宅)方面

此日亦朝霧ヲアリ大隊ハ之ヲ利用シテ一齊ニ突撃ヲ行ヒ忽チニシテ
①陣地ヲ奪取シ爾後楊涇クリークヲ渡河シテ前岸ノ敵陣地ニ
對スル突撃ヲ準備ス

大隊長平顯美ハ奇龍衣の渡河ヲ決行スルニ決シ午後三時三十分煙幕ヲ
焚キ一齊ニ渡泳突撃ヲ敢行スエ兵隊ノ作業班竹梯ヲ以テ架橋セン
トスルモ敵彈ノ爲ガラクニ折レテ其用ヲ爲サス將兵皆河中ニ跳入りテ
渡泳ス

第十二中隊第一小隊長上野准尉同第三小隊長綠川少尉共ニ隊
ノ先頭ニ立ツテ渡泳馬家宅東南角⑦ノ陣地ニ向ヒ軍力ヲ振リ
カサシテ突入シ之レニ續ク者ニ十余名同シク白兵ヲ振ツテ敵陣ニ突入シ
テ逃クルヲ追フテ之ヲ刺シ之ヲ射テ忽チニシテ同一角ヲ占領ス此時新陸
宅及馬家宅西南方ノ両方面ヨリ敵ノ大逆龍衣アリ我占領部隊奮戦
格闘克ク其陣地ヲ死守シアリ第十二中隊長國分少尉此情況ヲ目撃
シ自ラ主カラ提ケテクリーク内ニ飛入レハ不幸敵彈ノ爲傷キテ泳クヲ得
ス敵ハ我カ奇龍衣の渡河ノ爲一時度ヲ失ヒアリシモ此頃ヨリ側防火力
漸ク熾烈トナリ部下ノ大分多クハ河中ニ於テ敵死レ又傷キ彼岸ニ達
セル者ナシ大隊長ハ河岸ニ於テ焦心苦慮スルモ敵ノ迫撃砲彈及

斜射側射彈激シテ豫備隊ノ速ナル進出ヲ命スルモ意ノ如クナラス
又第十中隊ノ一部(十數名ハ當初ノ突撃ヲ終テ渡泳ニ成功シ)附近
ノ陣地ニ突入シテ亂戰格闘ノ後其一角ヲ占領セルト確實ナルモ其後
ノ情況判明セス第十中隊主力又渡泳ヲ焦レトモ徒ニ死傷多クシテ
應援不可能ノ状態ニ在リ

聯隊長ハ午後五時頃第三大隊長ヨリ「第三大隊ハ第十二中隊ヲ以テ
渡河ニ成功シ引續キ渡河決行中ナリ」トノ報告ニ接スルヤ第三大
隊後方近ク待機セシメアリシ聯隊豫備ノ第十一中隊ヲ原所屬ニ
復歸スルト共ニ自ラ蛇頭形クリーク頭①ニ向ヒ前進ヲ準備シ又第
一大隊ヲシテ一部ヲ以テ老陸宅ヲ確保セシメ主力ヲ以テ第三大隊方面ヨリ
隨時渡河シ得ルノ準備ヲ爲サシムル外作命第四七號ヲ下達シテ
第三大隊ノ渡河ニ協力セシム又協力砲兵タル山砲兵第三大隊長ニ馬家
宅ニ向ヒ徹底的砲撃ヲ依頼シ敵ハ一時我砲撃ニ依リ後退ヲ思ハシメ
タルモ暫クシテ敵ノ増加隊ハ續々トシテ來着シ益々守備ヲ堅固ナラシム

斯クニテ明拂曉ニ至ル迄大隊長以下將兵ノ總テハ我渡河部隊ヲ見殺
ニスルニ忍ヒス人カノ最善ヲ盡シテ奮闘セルモ遂ニ其目的ヲ達セス
恨ムヘシ我渡河部隊ハ遂ニ敵ノ反撃ヲ支スルヲ得ス何レモ壯烈ナル最後ヲ
遂ケ永遠ニ馬家宅ヲ占領スルニ至レリ

曉忠烈ナル行爲鬼神モ亦及ハサルヲ

第三大隊ノ十月二十日以來第一線トナリ楊涇クリークノ線ニ進出セル行動ハ
敵陣地ノ真只中ヲ穿貫セルモノニシテ此間四周ヨリ敵ノ猛射ヲ受ケタルハ
勿論晝夜間断ナキ敵迫撃砲彈下ニ曝サレ食ニ餓エ水ニ渴スルモ
更ニ屈セス一意攻撃ヲ敢行シ朝ニ敵陣ノ一線ヲ奪ヒ夕ニ敵ノ逆龍衣
ヲ排シ然モ死傷續出シテ大隊ノ總員百數十名ヲ算スルニ至レルモ尚
毅然トシテ任務ヲ爲攻撃ヲ續行シタルハ真ニ驚異的行爲ト認ム

第四大隊(老陸宅)方面

第一大隊ハ楊家宅ニ展開シテ老陸宅ノ敵ニ對シ攻撃ヲ準備シ本朝
飛行機ノ空爆後直ニ攻撃ヲ前進敵ノ射撃極メテ緩徐ナルニ求シ

0381
一意前進ヲ繼續シテ其東側クリク附近ニ達ス當時敵ノ一部ハ既ニ
退却セルヲ以テ直ニ之ニ突入シ午前九時三十分東部老陸宅ヲ占領シ次ニ
西部老陸宅ノ殘敵ヲ掃蕩シテ其西端ニ達シ爾後其前方ニハ敵
ト一チカ陣地ニ對シテ攻撃ヲ續行ス同夜敵ハ新陸宅方面ヨリ大部隊
ヲ以テ數回ニ亘リ逆龍衣シ來レルモ何レモ之ヲ撃退シテ同村ヲ確保ス
又同夜歩百三旅作命第三一號ヲ受領シ之ニ基キ午後五時歩六五作命
第四八號ヲ下達ス

當時軍ハ敵ヲ蘇洲河ニ向ヒ追撃中ニシテ師團ハ石橋陸家宅ノ線ニ
進出ラ企圖シアリ

中隊隊亦新ニ歩兵第百四聯隊ヲ右第一線トシテ増加シ朱家宅ニ向ヒ前進
ヲ企圖シアリ

他師團正面ハ既ニ二三日前ヨリ追撃ヲ行動ニ移リアルニ獨リ我聯隊ノ
正面ノミ未タ突撃ヲ成ラス而モ多ク部下ヲ失ヒ眞ニ恐懼ニ堪ヘス
本日ノ渡河失敗セルハ楊涇クリーク我岸ノ敵陣地ノ掃蕩完ラサル原

因スル所多シ故ニ我岸ノ敵ヲ完全ニ一掃シ廣正面ニ於テ渡河ヲ準備スルヲ要ストノ旅團長ノ意圖ニ基キ聯隊ハ明ニ十八日早曉老陸宅ニ在ル第一大隊ヲ步兵第百四聯隊ト交代シテ之ヲ右第一線トシテ陸家橋南側地區ニ展開シ馬家宅北方地區ニ於テ揚潁クリークヲ渡河シ八字橋ニ向ヒ前進セシメ又第三大隊ヲ左第一線トシテ依然馬家宅ノ敵ヲ突破シテ八字橋南側地區ニ向ヒ前進セシメ又第三大隊ヲシテ陸家橋ノ占領地ヲ步兵第百四聯隊ト交代シテ三家村ニ於テ豫備ト爲シ步兵砲隊聯隊砲中隊聯隊機關銃隊ヲ以テ主トシテ第三大隊ノ戰鬥ニ協カセシムル如ク部署ス

6 本日夕ニ於ケル態勢別紙要圖ノ如シ (附圖第六)

十月二十八日 (晴)

ハ各隊ハ前夜ノ命令ニ基キ夫々行動ス
又第三大隊ハ薄暮ヲ利用シ一部ヲ以テ渡河ヲ強行セルモ敵火毫モ衰ヘス却ツテ陣地ヲ補備シ新ニ鐵條網ヲ張り益々増強シタル狀態ニテ成功ヲ見ス

此日第九中隊小隊長齋藤琢磨少尉(同)古小高滿清少尉ハ共第一線
 小隊長トシテ率先陣頭ニ立ツテ奮闘シクリークヲ渡河セントスル刹那
 敵彈ノ全彈ヲ受ケ壯烈ナル戦死ヲ遂ク

本部附伊関少尉ヲシテ第三大隊ノ方面ノ狀況ヲ偵察セシム

3. 同夜聯隊ハ旅團長ヨリ重要命令ヲ達セラレ明日ニ十九日愈々聯隊全
 滅ヲ堵シテ楊涇クリークノ渡河ヲ強行スルニ決シ各隊長(第三大隊長
 ヲ除ク)ヲ集メ聯隊長ノ決意ヲ示シ聯隊最後ノ奮闘ヲ要求シ
 午後十時作命第四九號ヲ下達ス其大要ヲ如シ

一 第一大隊右第一線丁字形クリーク北側(㊦ノ線)、第二大隊中第一線
 第一第三大隊ノ中間、第三大隊左第一線現在線

ニ 第一線大隊ハ本夜暗ヲ利用シテ各々配置ニ就キ遅クモ明拂曉迄

ニ 楊涇クリーク河岸ニ進出シ渡河ヲ準備セシム

々 本日夕ニ於ケル態勢別紙要圖ノ如シ(附圖第七)

十月二十九日 (晴)

各隊ハ前夜來我岸ニ在ル敵陣地ヲ強龍シテ之ヲ占領シ概シテ拂曉時迄ニ各々所命ノ線ニ進出シ渡河ノ準備ヲ爲ス

第一大隊長山口少佐ハ前夜來敵前百米ノ第一線ニ在リテ勵聲叱呼部下ヲ突撃手陣地ニ推進セシメアリシカ偶々敵迫撃手砲彈片ノ爲顔面ニ重傷ヲ負ヒ鮮血迸ツテ戎衣ヲ染ムルモ更ニ屈セス聯隊最後ノ日ヲ飾ラント後退ヲ肯セス漸ク突撃手陣地ヲ占領セルヲ見テ徐ロニ後退ス

2. 第一線各隊ハ別紙渡河計畫(作命第五〇號ヲ以テ午前九時下達ス)ニ基キ準備ヲ進ム

聯隊主力カ本戰場ノ敵ニ對シ攻撃ヲ開始シテヨリ實ニ二週日此間幾多ノ戦友ヲ失ヒテ力攻セルモ未ダ突破成ヌ今ヤ將兵ノ憤恨其極ニ達シ何レモ今日ヲ最後トシテ壕内ニ遺留品ヲ集メ訣別ノ言葉ヲ交ハシ大隊長以下軍衣袴ヲ脱シ浮袋ヲ装着シ軍力ヲ首ヨリ肩ニ懸ケ睥テ決シテ突撃ノ開始時ヲ待ツ其志氣タルヤ悲壯且旺盛ナリ

午後三時ヨリ砲撃ノ開始アリ馬家宅南北ノ線ニ在ル敵陣地ハ砲烟ニ包マル

午後三時三十分第一線ハ突撃ノ喇叭ト共ニ一齊ニ突撃ヲ前進ヲ開始ス
工兵中隊ノ決死隊員鏈竹ヲ先ツ河ニ渡セハ前日同様敵集中火ノ爲忽チ
ニシテ破新セシ歩兵ハ之ニ介意スルヲナク渡河ス

第三大隊ノ一部ハ⑦附近ノ一角ニ突入シ又第二大隊ノ一部ハ⑧附近ノ
一角ニ躍リ入ル

然レトモ敵ノ火力愈々熾烈ニシテ我第一大隊及聯隊重火器ノ總テヲ
撃テ之カ撲滅ニ努ムルモ堅固ナル掩蓋内ニ在ル敵ニ對シテハ大ナル效果
ナク我軍ノ傷亡斃ルノ者漸ク戦場凄愴ヲ極ム突撃ノ第二第三波ヲ
以テ午後六時迄必死ノ猛攻ヲ續ケタルモ各大隊共今ヤ勇士ノ多ク失ヒ
本日ノ参加兵カ僅ニ百數十名ヲ出テサル状態ニテ加フルニ敵ハ新銳ナル
部隊ヲ續々ト此方面ニ増加シ其抵抗頑強ヲ極メ毫モ戦況ノ進展
ヲ見ス聯隊長ハ本夜間ニ於テ更ニ後圖ヲ策スルニ決シ一時突撃ヲ

中止シテ爾後ノ突撃ヲ準備セシム

午後七時頃旅團長ヨリ別命アル迄夜間ノ企圖ヲ見合ハスヘキ命令ヲ受ケ
無念ノ涙ヲ吞ム

6. 午後十一時頃歩百三旅作命第三四號ヲ受領シ其第一線ヲ他隊ト交代師

團ノ豫備トシテ後退セシメラルヲ知り更ニ萬斛ノ悲涙アリ

午後十一時三十分作命第五三號ヲ要旨ヲ關係者ニ傳達ス

同夜第一線各隊ハ激言戒ヲ嚴ニシテ占領地ヲ確保シ爾後ノ突撃ヲ準備ス

8. 本日ノ戦闘ニ於テ聯隊副官小島哲次郎ハ拂曉時ヨリ第一線ヲ奔走シテ

聯隊長ノ意圖ヲ傳ヘ入中小隊長ノ指揮ヲ指導シ愈々突撃ヲ決行前

ヨリハ第一大隊正面ニ於テ大隊長代理片岡中尉ト共ニ最前線ノ壕内ニ於

テ突撃部隊ヲ區處シ恰モ阿修羅王ノ如ク奮闘シテ兵卒ノ志氣ヲ鼓舞

シ遂ニ自ラ突撃ヲ没ノ先頭ニ立ケテ河中ニ飛入ラントスル刹那頭部ヲ貫通

セラレテ壯烈ナル戦死ヲ遂ク眞ニ武人ノ勇鑑タリ

又第二中隊小隊長古川鐵太郎渡河奮戦中名譽ヲ戦死ヲ遂ク

9. 本日ノ於ケル態勢別紙要圖ノ如シ(附圖第七)

十月三十日

(曇 後小雨)

ノ此日朝第一大隊ノ右翼方面ニ敵ノ逆襲アリ第四中隊奮闘格闘克
 ノ之ヲ殲滅セルモ同隊中隊長代理沼崎健造同小隊長阿蘇初三郎少尉
 ハ遂ニ壯烈ナル戦死ヲ遂ク又大隊長代理寶田長次郎ハ敵迫撃砲彈片
 ノ爲員傷ス然レトモ大隊ノ志氣毫々衰ヘス歩百四聯隊ト確實ニ交
 代ヲ了シテ同日夕櫛網灣ニ兵力ヲ集結シテ旅團ノ豫備トナル

聯隊砲隊長齊藤大尉ニ一時大隊長代理シ命ス

2. 第二大隊正面ニ於テモ交代ノ途中敵ノ一部逆襲シ來リシモ第ニ中隊
 小隊長鈴木少尉克ク奮戦シテ之ヲ殲滅ス

3. 第三大隊正面ハ異狀ナク交代ヲ了ス

4. 各大隊ハ爾後全カヲ撃ケテ戦場ノ整理ヲ爲シ概シテ日没時正家橋ニ
 兵力ヲ集結ヲ終リテ師團ノ豫備隊トナリ

但シ歩兵砲及聯隊砲隊ハ歩百四聯隊殘敵掃蕩間之ニ協力セル爲夜半

ニ至リ漸ク其集結ヲ了ル

聯隊通信班ハ十月十六日以來本日ニ至ル迄電話線ノ架設ハ勿論敵火爲
日ニ幾回トナリ切斷セラル、狀況下ニ在リテ日夜間斷ナク必死ノ努力ヲ續ケ
以テ支隊長ノ指揮ヲ容易ナラシメタル行爲ハ特筆スルニ足ル
公本日朝ニ於ケル態勢別紙要圖ノ如シ（附圖第七）

六 戦闘ヨリ得タル教訓

ノ想像ニ画ケル堅固ナル陣地ト實際ノ陣地トノ間ニ余リニ大ナル開キアリ
要スルニ堅固ナル陣地ニ對スル認識ヲ欠ケリ

又支那軍ノ堅固ナル陣地ニ對シテハ正面百米位ヲ突破スレハ其左右ノ敵ハ
自然ニ退却スルト思ヒシニ支那軍ト雖モ之ノミニテハ後退セス更ニ一本其反
對翼ニ穴ヲ孔シテ始メテ退却セシメ得タリ
貫シタルトキ退却ス

堅固ナル陣地ノ攻撃ニ於テ部署ノ變更ハ眞ニ已タラ得サル場合ノ外行フ
（カラス）ノ教訓ヲ得タリ熾烈ナル敵火ノ下ニ於テハ勢ヒ交通壕ニ依ラサルヘカ

ラサルモ其交通壕ハ我戦死傷者其他ヲ充滿サレアルヲ通常トスルヲ以テ交代ニ非常ノ困難ト時間トヲ要シ豫定ノ計画ニ齟齬ヲ生スルコト多シ
 又熾烈ナル敵火、迫撃砲彈下ニ於ケル作業ハ頗ル困難ニシテ築城、教範ニ在ル敵火ノ下ニ於ケル作業法ノ如キハ通常採用シ得サルヲ經驗セリ、從テ端末作業或ハ對壕作業ニ據ラサルヘカラス、然ルニ之カ實行ハ勢ヒ多時ヲ要シ結局ニ於テ敵ノ殘セル壕ヲ利用スルカ若ハ新ニ構築セントセハ準備日數ノ多キヲ要スルコトナルナリ

又クリークノ渡河ニ於テハ其前岸ハ自動火器ヲ制壓スルヲ絶對條件トスコレカ爲ニハ我モ亦此一ツノ對向スル重火器ヲ排列シ目標ノ分配ヲ適當ニシ突撃時前ニ完全ニ之ヲ制壓シ得ル如ク準備スルヲ要ス、若此準備ヲ欠ケハ通常渡河ハ不成功ニ終ルヘシ

6. 之カ爲ニ機關銃ハ勿論聯隊砲ノ如キモ分解搬送ヲ第一線ニ進出シ銃砲眼射撃設備ヲ完全ニシ對向射撃手ニ任セシムルヲ要ス

又山砲兵隊ノ如キモ其一部ヲ努メテ之ヲ第一線ニ配屬シ某大隊ト全ク

其行動ヲ共ニセシメ、觀測班ノ第一線ニ進出スルハ勿論、砲其モノヲ第一線ニ据ヘ付ケテ射撃ヲ任セシムルヲ必要ト考フ

今回聯隊長ハ其配屬セラル砲兵ノ使用ヲ誤リシトテ痛感セリ

又老陸宅附近ノ支那軍陣地(天角位ノ木材ニテ掩蓋ヲ作リシモノ)ニ對シテモ野山砲級ノ威力ハ余リ大ナラサルヲ痛感セリ故ニ之ヲ遠距離ヨリ

射撃シテ破壊若ハ制壓セトスルハ過度ノ要求ニシテ若シ術エ物ニ對シテ効果ヲ發揮セトセハ須ヲ第一線ニ砲ヲ据エサルヘカラス之カ爲ニ特準備時間ヲ與フルヲ要スルコト勿論ナリ

故ニ斯カル陣地ニ對シテハ將來大口徑ノ榴彈砲ヲ計畫的ニ運用シ其射撃ヲモ亦急襲的ナルヲ要ス

9 今回クリーク渡河ニ於テハ先ツ砲撃ヲ行ヒタル後渡河スルヲ常則トセシカ斯クテハ敵ニ豫告ヲ與フルト同様ナルヲ以テ將來ニ於テハ砲撃ヲキ急襲的渡河ヲ行フノ著意ヲ必要トス

10 火焰放射器、爆藥等舊式品ハ寧ろ使用セシメサルヲ勝レリトサヘ考ヘシヨ

1933

1-2756

トアリ

11. 近接戦闘ニ使用シ得ル威力大ナル火槍兵器ノ案出ハ將來特ニ必要ナリ
 思考ス

12. 支那軍ハ手榴彈ノ使用ニ巧ナリ之ニ反シ我軍ハ甚タ拙ナリ將來手榴
 彈ノ構造ヲ改正シ過度ニ訓練セサルモ直ニ之ヲ巧ニ使用シ得ル如ク考ラ
 要ス

13. 手榴彈我擲距離小ナル現下ノ國軍ニ於テハ擲彈筒ハ特ニ必要ナリ
 ト思考セリ重擲ナレハ尚更可ナリ、數ノ増加ヲ望ム（特設聯隊ハ一中隊
 ニ四筒ノミ）

14. 其他壕内ニテ偵察シ得ル潛望眼鏡、何レノ地形ニテモ自由ニ突破シ得
 ル戰車等ノ案出、敵迫撃砲ノ位置發見並ニ之ヲ撲滅策等ハ將來
 研究ヲ要スル問題ト考ヘタリ

15. 輕機ノ構造ハ巧緻ニシテ陣地戰ニ通セス

16. 緒戰ニ於ケル打撃ノ如何ニ深刻ナルカラ痛感セリ

1991

17 指揮官ノ指揮技能ノ良否、攻撃ノ精神並ニ志氣團結ノ強弱等カ如何ニ
戦闘ニ偉大ナル影響ヲ及ホスカヲ痛感セリ特ニ悲慘ナル戦局ニ於テ益
然リトス

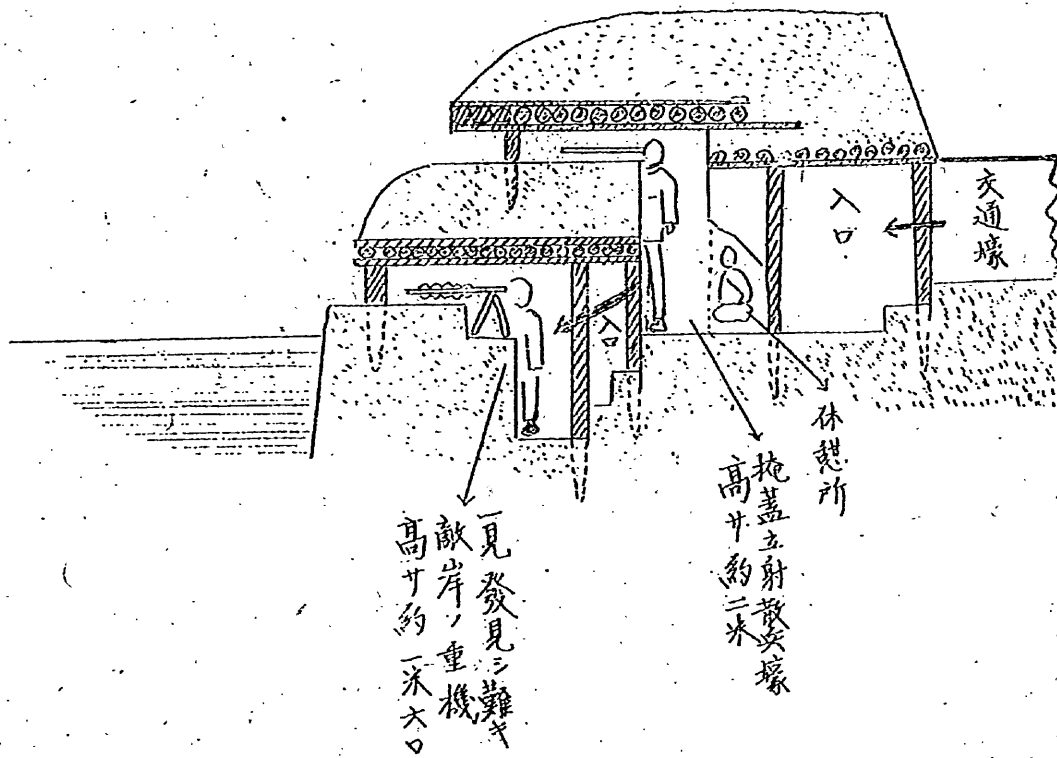
18 南部老陸宅、馬家宅（楊涇クリーク對岸）ノ敵掩蓋銃座ノ強度左圖ノ
如シ

1-580

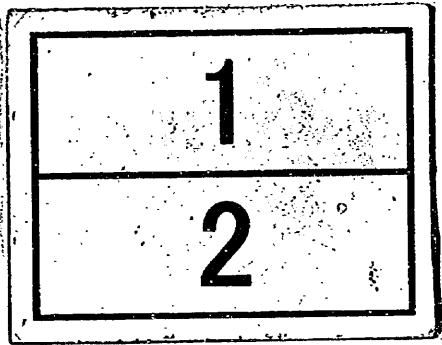
1935

元

座銃蓋掩ノ岸敵クーリク大宅陸老部南
(リアシ築構ヲ座命十川大)



分割撮影ターゲット

分割した 部 分 の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版以上のため
文書等名	歩兵第65連隊編成表
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

別紙

步兵第六十五聯隊編成表

[illegible]

1937
1938

マヲ携行ス

マス

隊編成表

昭二三一四調製

計	114	161	103	40	95	87	177	179	122	120	125	42	180	104	83	109	100	80	133	137	145	266
計	16	15	1	1	1	1	13	2	2	1	1	1	14	1	1	1	1	1	1	2	2	71
銃	156	144	103	110	113	67	80	157	201	177	143	85	170	92	103	116	105	97	186	136	136	277
銃	119	36	100	123	119	68	22	8	181	81	178	133	41	95	94	107	105	17	35	40	11	1737
銃	3	7						7					7							1	1	27
銃																						57
銃	3	3	3	3																		116
銃	3	3	2	3																		33
銃	1	1	2	1																		20
銃																						2
銃																						4
銃																						3
銃	八	九																				49
銃	二四	八七																				442
銃	三二	九六																				491
摘要																						

1564

步兵第六十五聯隊將校同相當官職員表

昭三二四
於齋家村

備 考	隊長 大佐 西角 業作 副官代理 中尉 山本 保 少尉 伊藤 武 通信班長 少尉 金成 正二 瓦斯 撤 少尉 太田 鉄藏 旗手 少尉 久米 正元 獸 医 少尉 青田 巖 技術准尉 小泉 平八 定員外 少尉 高橋 義雄 少尉 伊関 淳															聯隊本部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	大隊本部 大隊長代理 大尉 齋藤 二郎 副官 少尉 龜岡 年太郎 主計 少尉 佐藤 雄三 見士(衛生部) 水村 守江															大隊本部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	中隊長 中尉 後藤 常彦 副官 少尉 菅野 薫 主計 少尉 高野 一郎 軍 佐 少尉 鷺頭 一 見士 渡部 平吉															中隊長																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	大隊本部 大隊長 大尉 鈴木 常彦 副官 少尉 鈴木 常彦 主計 少尉 鈴木 常彦 軍 佐 大尉 小野 寅三 見士 佐藤 邦夫															大隊本部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	大隊本部 大隊長 大尉 針岡 壽 副官 中尉 針岡 壽 主計 中尉 針岡 壽 軍 佐 中尉 針岡 壽 見士 中尉 針岡 壽															大隊本部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
第十軍隊八本期間中曹長徳繁威政中隊長代理タリ	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉 針岡 壽	中尉

別紙

將校同相當官戦死傷者人名表

昭和十二年十一月四日
歩兵第六十五聯隊

役種	官等	氏名	役種	官等	氏名
戰		死	戰		傷
現	歩少佐	小畠哲次郎	現	歩少佐	山口憲三
後	歩中尉	高久武	現	歩少佐	山口武臣
後	歩中尉	梶村正巖	現	歩中尉	寶田長次郎
後	歩中尉	志賀繁	現	歩中尉	三木正明
豫	歩少尉	武藤敏夫	後	歩中尉	佐藤泰然
豫	歩少尉	蓮沼正夫	後	歩中尉	伊勢幸太郎
豫	歩少尉	松崎精一	後	歩中尉	高橋寅次郎
豫	歩少尉	黒羽一二	後	歩中尉	近藤永昌
豫	歩少尉	石上信雄	豫	歩少尉	大竹儀榮
豫	歩少尉	佐久間徳光	豫	歩少尉	日下部春雄
豫	歩少尉	大木繁夫	豫	歩少尉	畠孝七
豫	歩少尉	佐藤幸之丞	豫	歩少尉	皆川誠之
豫	歩少尉	原田勇	豫	歩少尉	佐藤通夫
豫	歩少尉	古小高満清	豫	歩少尉	龍義勝
豫	歩少尉	古川鐵太郎	豫	歩少尉	相良清吉
豫	歩少尉	緑川泰正	豫	歩少尉	渡邊雄治
豫	歩少尉	沼崎健造	豫	歩少尉	網澤新平
豫	歩少尉	阿蘇初三	豫	歩少尉	鈴木源一
豫	歩少尉	小檜山正雄	豫	歩少尉	岡部謙次郎
豫	軍醫少尉	齋藤琢磨	豫	歩少尉	長澤市太郎
			豫	歩少尉	佐川勇
			豫	歩少尉	金澤正雄
			豫	歩少尉	鈴木進
			豫	歩少尉	高橋宗大
			豫	歩少尉	岡崎憲太郎
			豫	歩少尉	上野頼榮
			豫	歩少尉	鈴木榮一
			豫	歩少尉	國介午良
計	二〇名		現	軍醫中尉	塩澤正俊
					二九名

皇紀二千五百三十四年十一月十日 大正元年十月十四日 支那軍 第六十五聯隊												
戰鬥詳報第一師附表 步兵第六十五聯隊死傷表												
考	備	總計	區分		戰鬥參加人馬		死		傷		生死不明	
			團隊	將校	准士官 下士官	馬匹	將校	准士官 下士官	馬匹	將校	准士官 下士官	馬匹
平	病	一三六名	八三	八三	三三三 (五四三)	五五 (五四三)	二〇 (三)	四七四 (八〇)	二九 (七五八)	七五八 (二六)	一 (二)	
			八三	八三	三三三 (五四三)	五五 (五四三)	二〇 (三)	四七四 (八〇)	二九 (七五八)	七五八 (二六)	一 (二)	
一本表外輕傷シテ隊中ニ在ル者 步兵第六十五聯隊 將校七名 准士官下士官兵一四五名 馬匹ナシ 二本表外患者左如シ 八伝 染病 三五名												

考		備	員数	区分	種類	戦闘詳報第二号附表	
一 輕機関銃 (14) ハコジ 輕機関銃 トス 二 軍刀 (10) ハ銃劍 (19) 青龍刀 (30) 内譯 トス 三 俘虜准士官下士官兵 千名ノ所屬隊 弗左ノ如シ 所屬 第百六十師			20 小銃 213 輕機関銃 14 小銃 14400 69 121	將校	俘	歩兵第六十五聯隊上國獲表	自昭和三年十月十一日 至昭和三年十二月四日
				准士官 兵士官	虜		
				馬匹	銃		
				砲	戰		
				實砲	利		
				砲彈	品		
				器具			
				軍刀			
				糧秣			

[illegible]

戰鬥詳報第三號附表

步兵第六十五聯隊武器彈藥損耗表(甲)

自乾隆十二年十月十一日
至乾隆二十二年十一月四日

045T

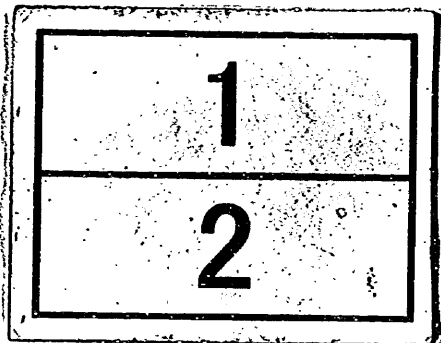
備 考	計	聯隊 砲中隊	隊 分		種類	自昭和二十年四月一日 至昭和二十一年三月三十一日 間	戰鬥詳報第四號附表 步兵第六五聯隊武器彈藥損耗表(乙)
			彈	榴			
	322	322	彈	榴	消		
	218	218	彈	榴	費		
			/		武		
					損		
					器		
					彈		
			/		藥		
					其		
					他		
					武		
			/		器		

1-37

66

1944

分割撮影ターゲット

分割した 部 分 の 撮 影 順 序	
分割撮影 した理由	A 3 版以上のため
文書等名	老陸宅馬家宅附近敵陣地並 符号図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

T291

1-38

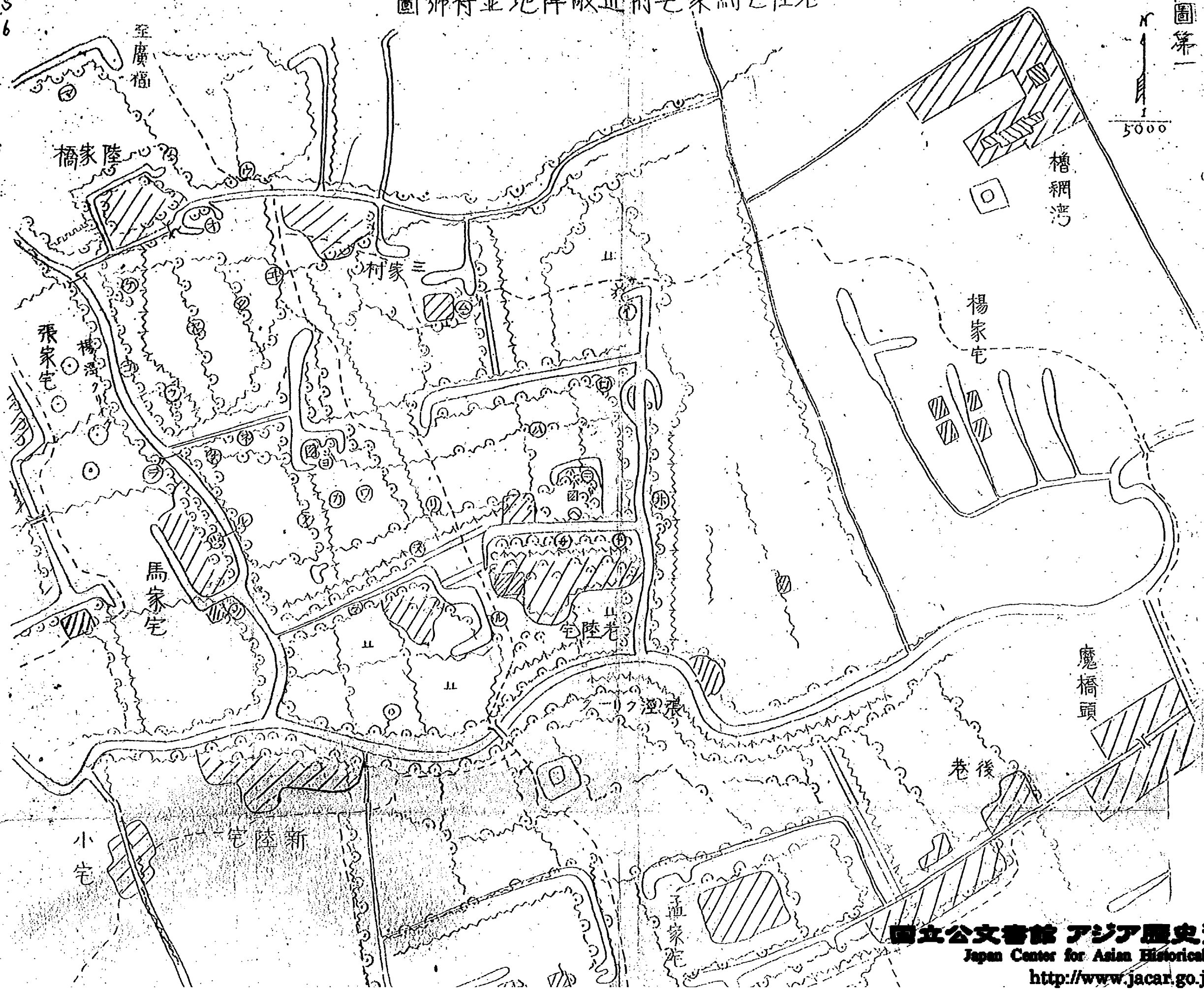
圖號符並地陣敵近附宅家馬宅陸老

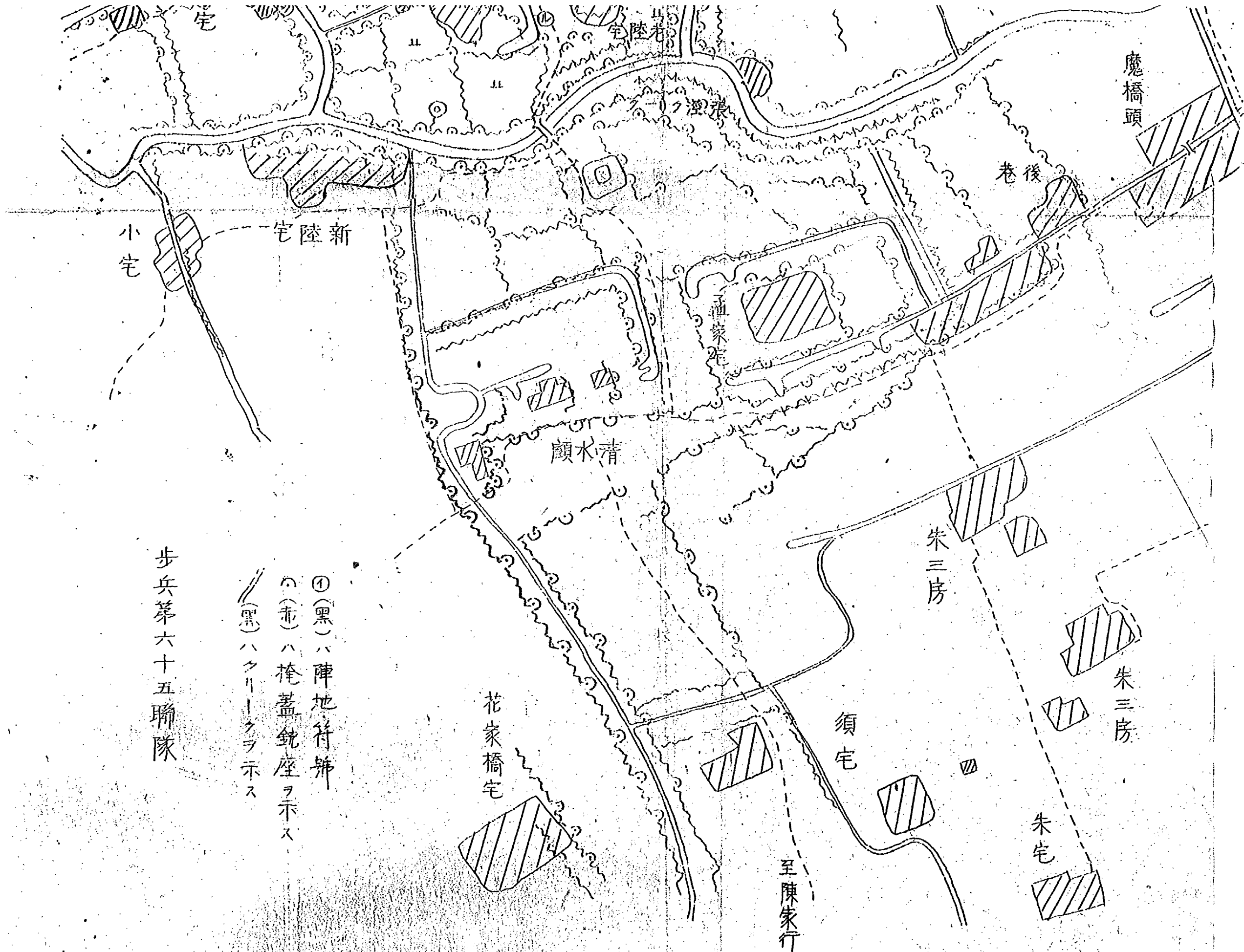
附圖第一

5000

1945
1946

1945
1946





歩兵第六十五聯隊

①(黒)ハ陣地ヲ示ス
 (赤)ハ掩蓋銃座ヲ示ス
 (黒)ハクリークヲ示ス

花家橋宅

須宅

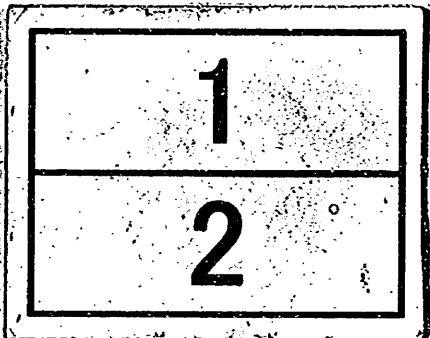
至陳家行

朱三房

朱三房

朱宅

分割撮影ターゲット

分割した 部 分 の 撮 影 順 序	
分割撮影 した理由	A 3 版以上のため
文書等名	老陸宅孟家宅附近敵陣地 攻撃要図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

1947

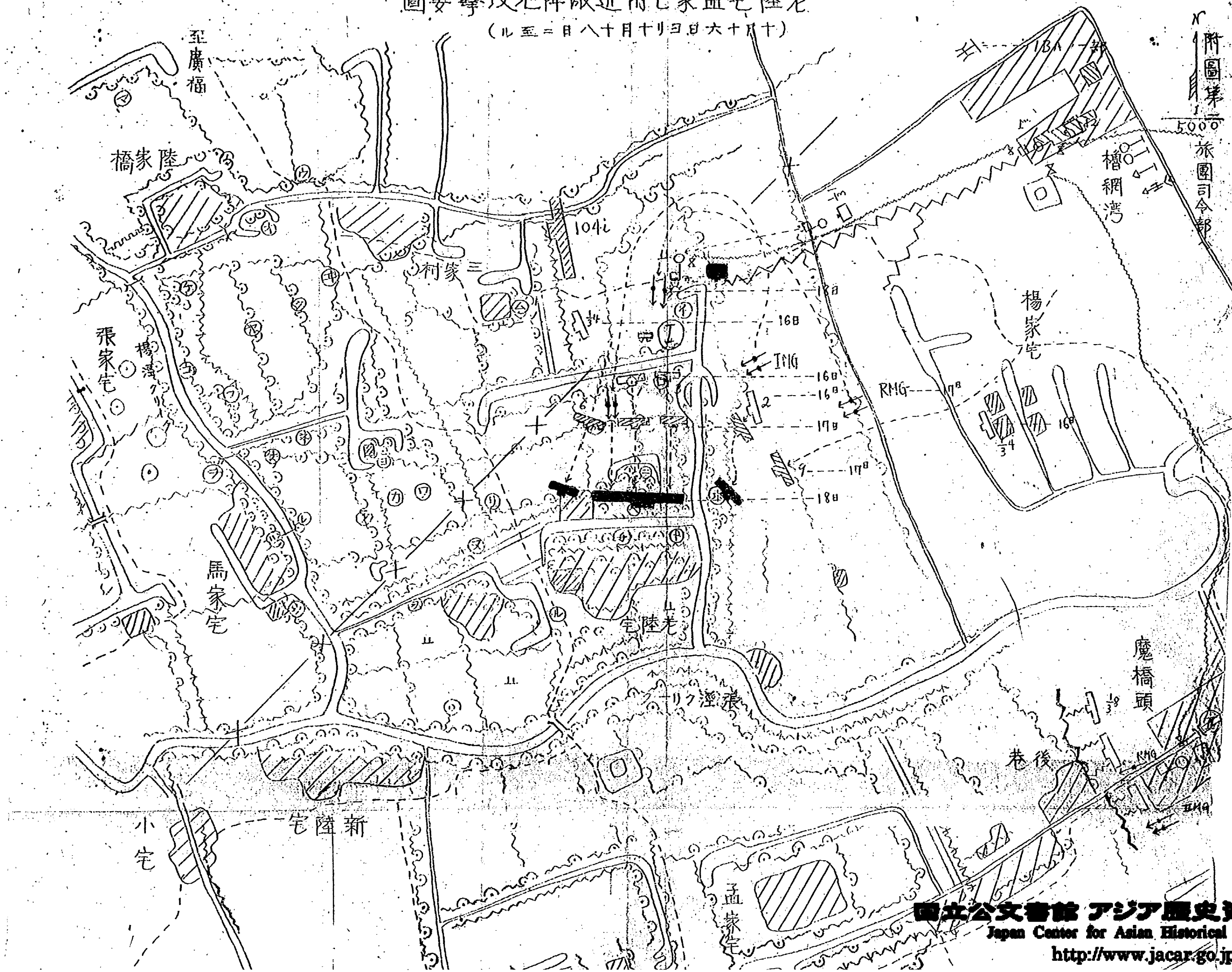
1948

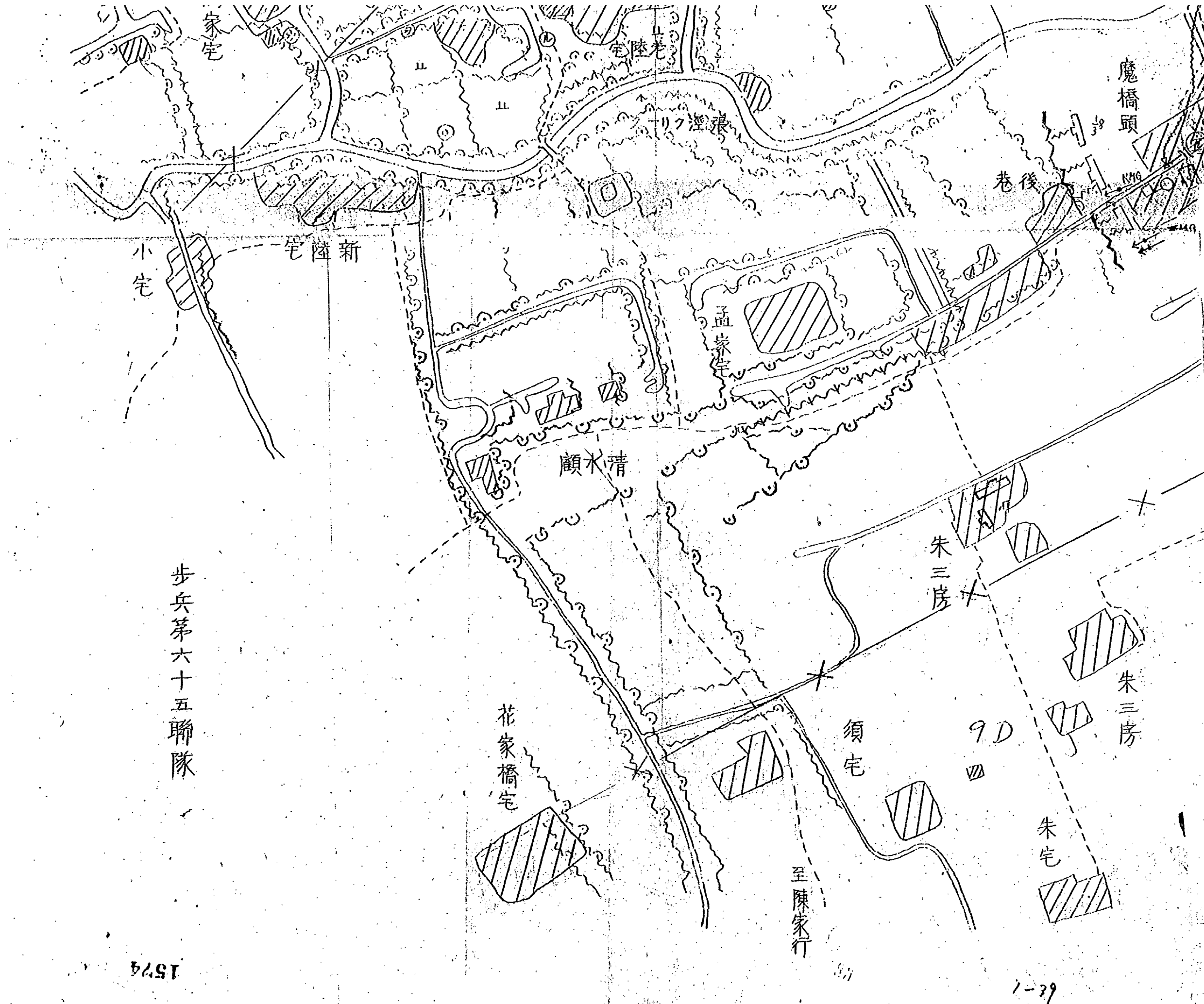
0491

1-39

圖要擊攻地陣敵近附宅家孟宅陸老

(ル至ニ日八十月十リヨ日六十月十)

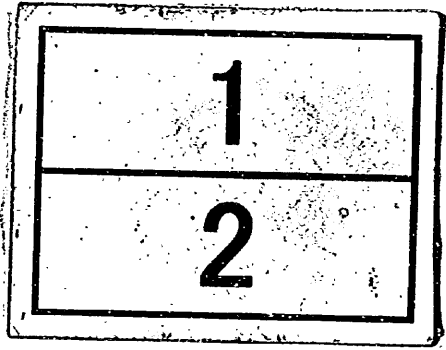




步兵第六十五聯隊

1574

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版以上のため
文書等名	老陸宅孟家宅附近敵陣地 攻撃要図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

1949
1950

1-40

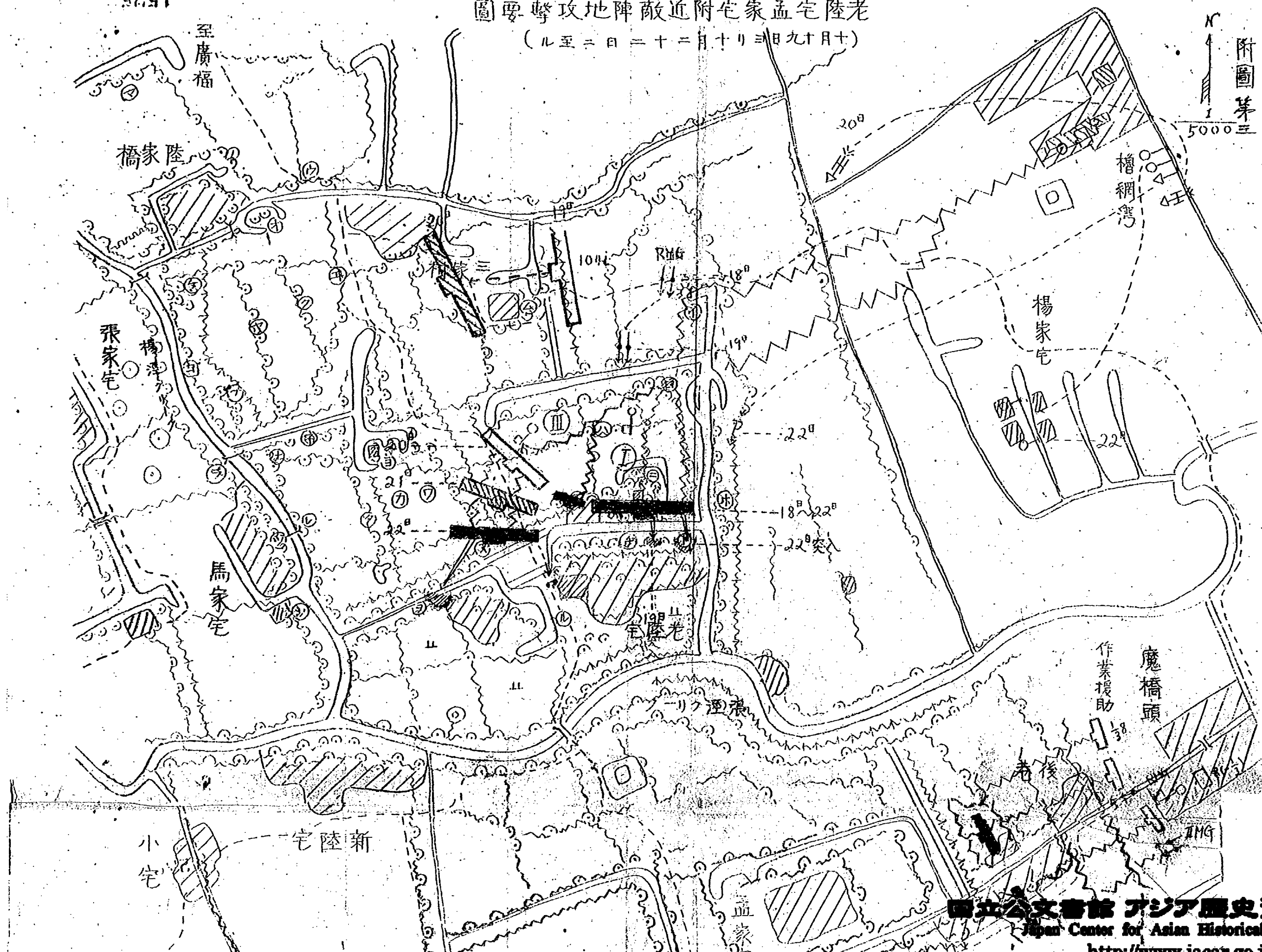
5251

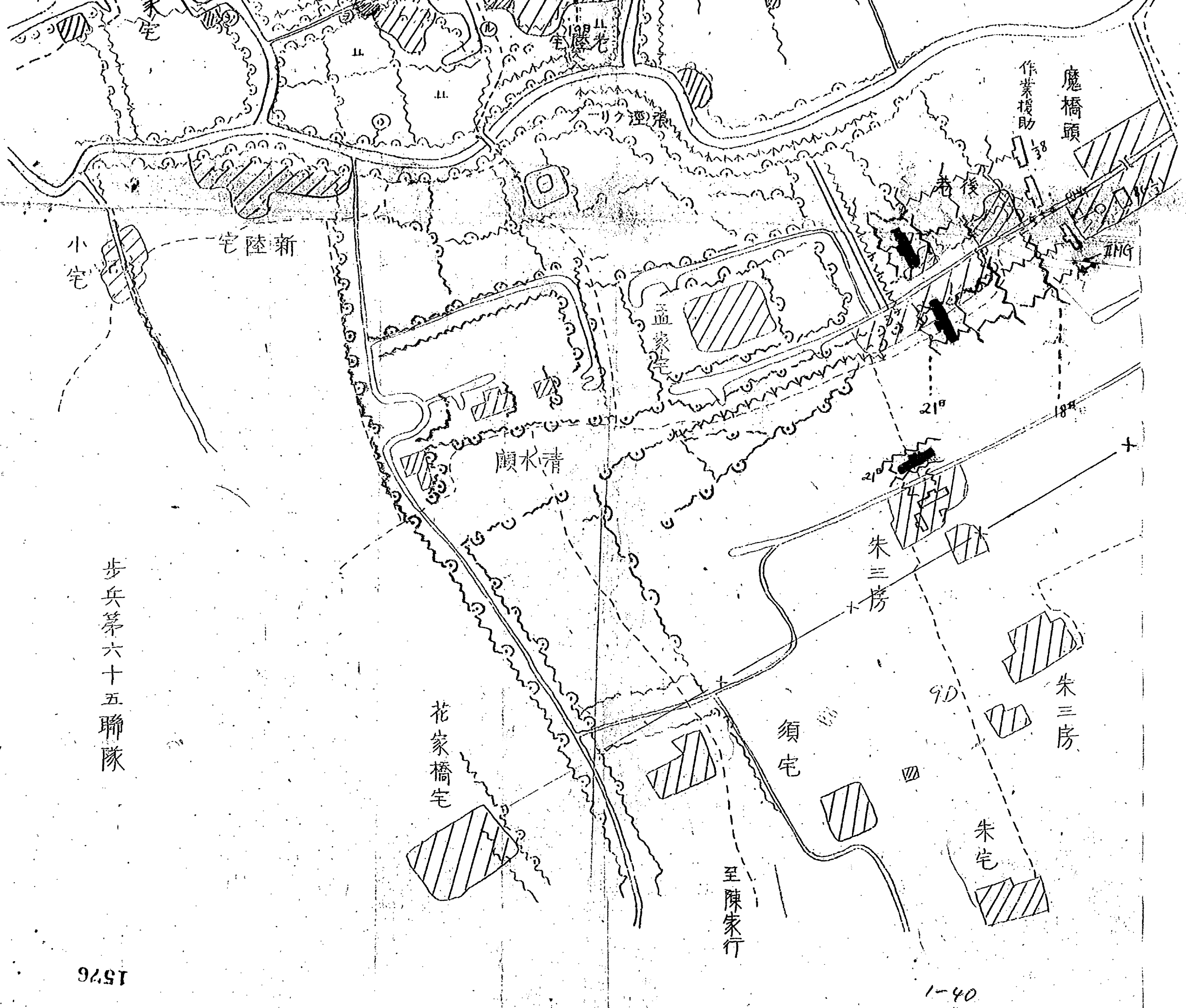
圖要擊攻地陣敵近宅家孟宅陸老

(ル至ニ日一十二月十リヨ日九十月十)

附圖第三

5000





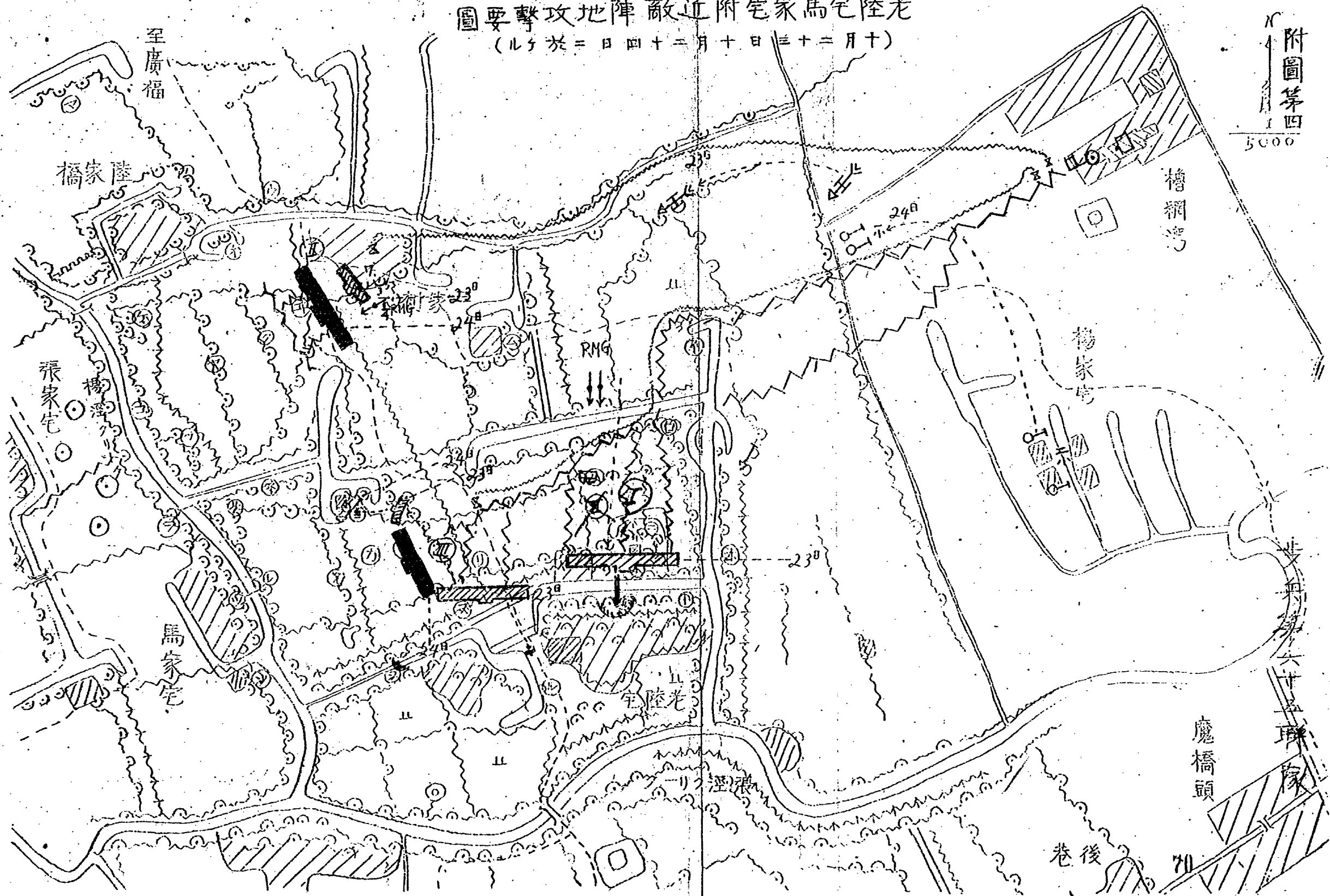
步兵第六十五聯隊

1576

1-41

(ルナ 於 = 日 四 十 二 月 十 日 || 三 十 二 月 十)

5000



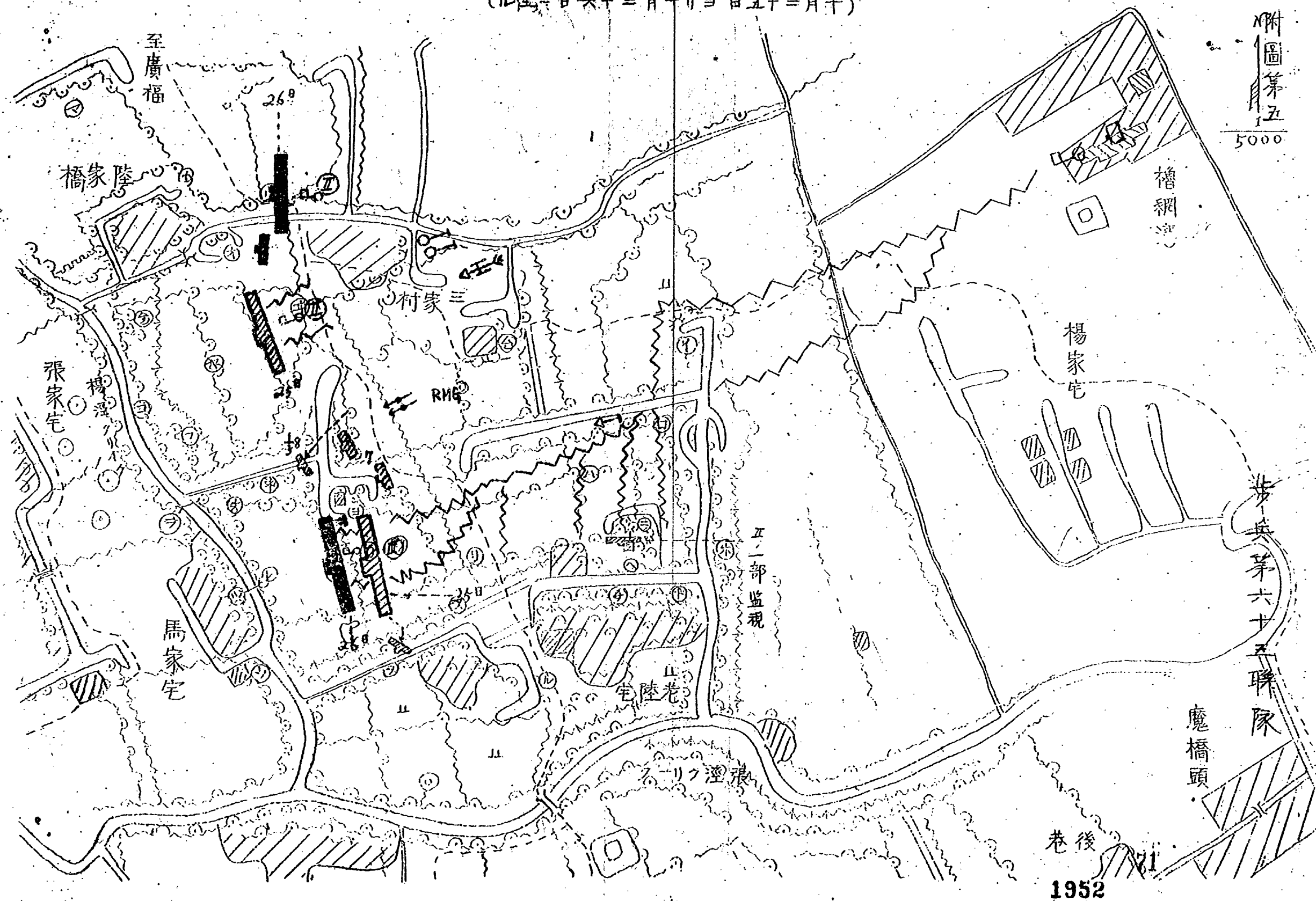
1951

9451

1-42

圖要擊攻地陣敵近附宅家馬宅陸老

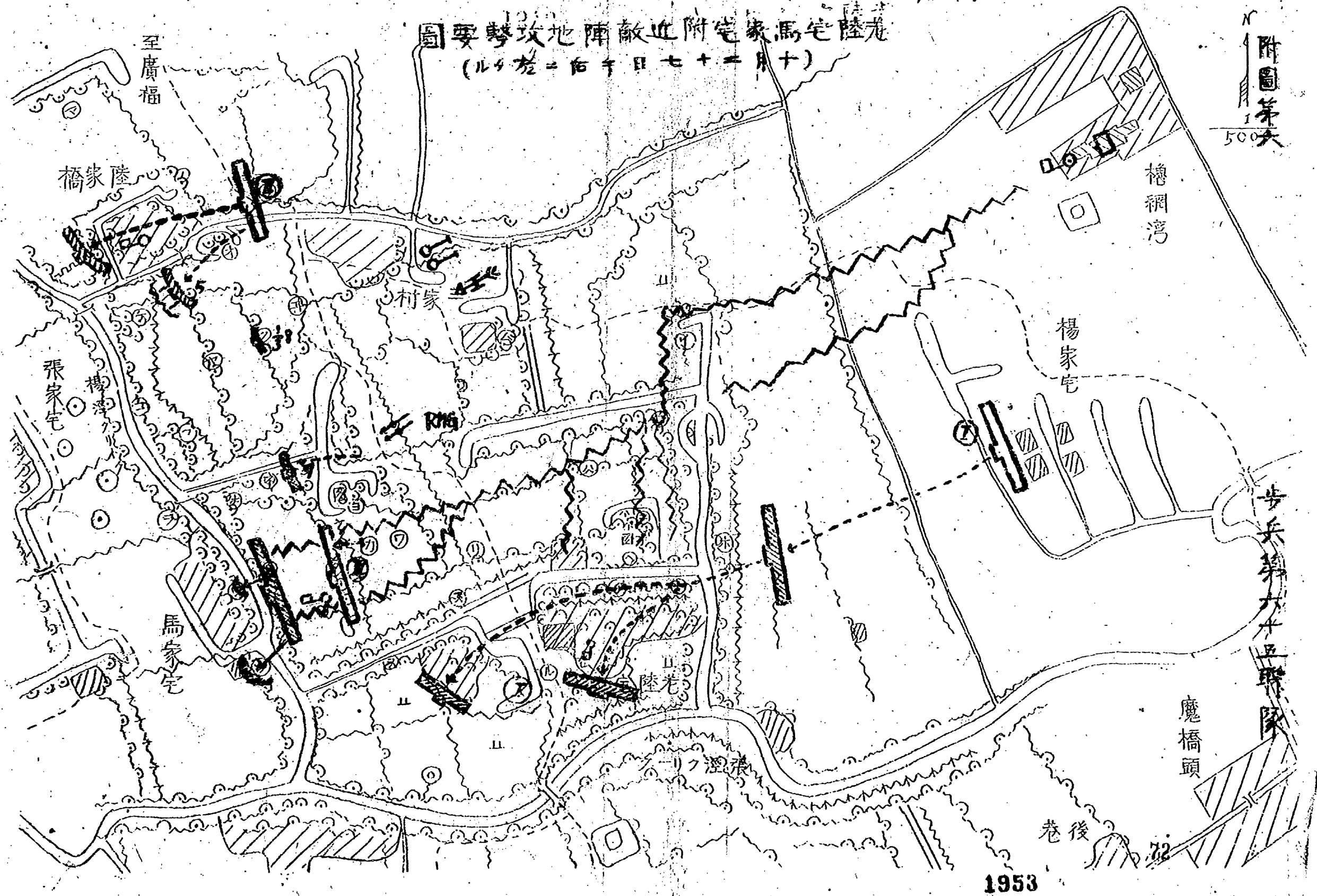
(1952年10月11日)



6491

1-43

龍陸宅馬家附敵陣地要圖
(十月二十七日午五時)

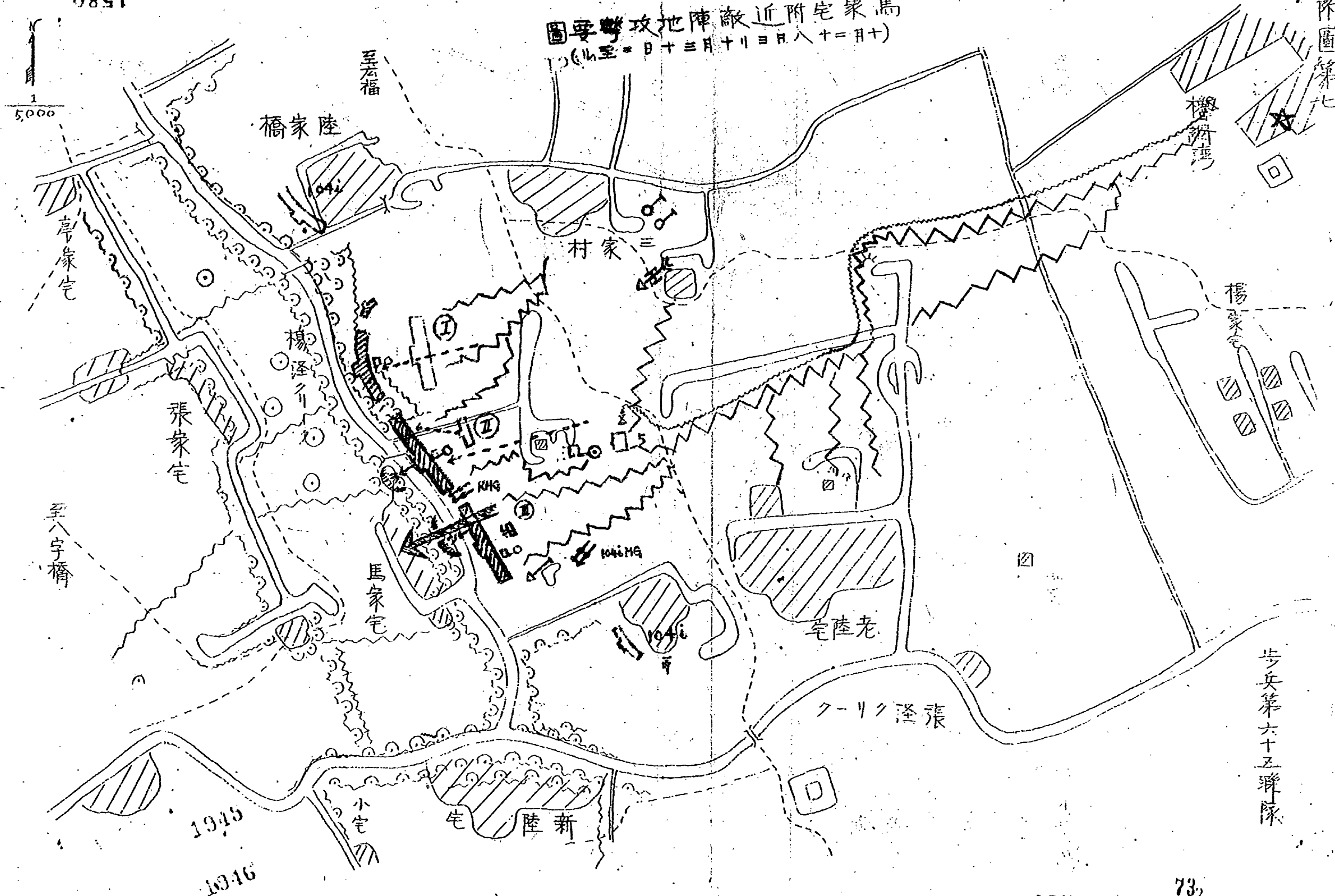


089T

1-44

馬家宅附近敵陣地攻撃要圖

(1945年11月11日～1945年11月13日)



附圖第七

步兵第六十五聯隊

1954

732